

Pioneer sound.vision.soul

7.0型ワイドタッチパネル
TV/DVD-V/MD/CD/チューナー・WMA/MP3対応
AV一体型HDDナビゲーション

● AVIC-HRZ09 MDLP Mini Disc

7.0型ワイドタッチパネル
TV/DVD-V/CD/チューナー・WMA/MP3対応
AV一体型HDDナビゲーション

● AVIC-HRZ08

7.0型ワイドタッチパネルTV付
DVD-V/CD・WMA/MP3対応
HDDナビゲーションセット

● AVIC-HRVO2



R▲ku-Na▼i

● 応用編 オーディオブック



carrozeria

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバー

オフシヨ
ン
機器

AV初期設定
(AVIC-HRZ09/HRZ08)

AV初期設定
(AVIC-HRVO2)

その他の機能

付録

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

⚠ 警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

【使用方法】

モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D V D

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVC-PH020)






AV初期設定 (AVC-PH02)

その他の機能

付録

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
 ご注意	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
 メモ	メモ 操作するうえで注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
 戻る	タッチキーを表します。 例： 戻る を選ぶ(または 戻る にタッチする)
 HRZ	HRZ : AVIC-HRZ09またはAVIC-HRZ08が該当することを表します。 HRV : AVIC-HRV02が該当することを表します。 例： オーディオ設定のしかた HRZ
→ (→)	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例： → 「ミュージックサーバーに録音する」(P38) (→ P16)
 つづく	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。



- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

各ボタンの名称

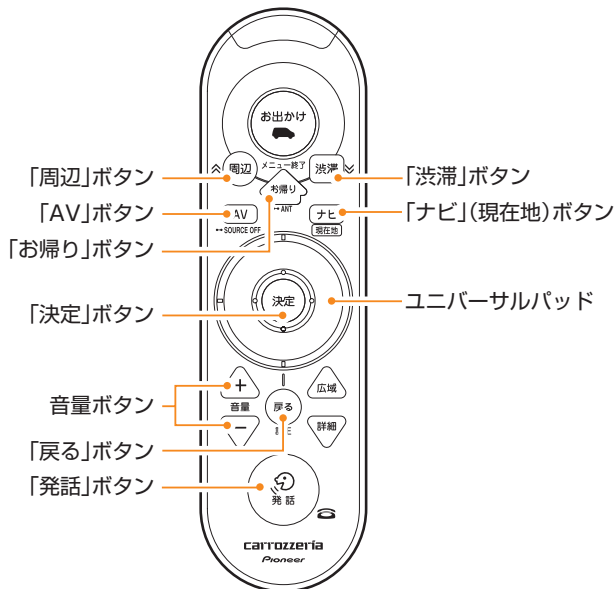
■操作ボタン

-  : 「AV」ボタン
-  : 「▼P.LIST▲」ボタン
-  : 「◀TRK▶」ボタン
-  : 「▼VOL▲」ボタン
-  : 「S」(SRC MENU) ボタン 
-  : 「V」ボタン



●本体全体のイラストや、オーディオ以外の操作ボタンについては『スタートブック』をご覧ください。

■リモコン



●音量ボタンおよびオーディオ以外の操作ボタンについては『スタートブック』をご覧ください。
●お使いの製品によっては、デザインが異なる場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVC-PH020)

AV初期設定 (AVC-PH002)

その他の機能

付録

目次

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
本書の見かた	4
本書の表記のしかた	4
各ボタンの名称	5
ご使用前に知っておいていただきたいこと	8

基本操作

オーディオ基本操作	10
基本操作	10
ソースの切り替えかた	10
ソースをOFFにする	11
画面表示の切り替えかた	11

放送受信

放送の受信	14
テレビやラジオの放送を受信する	14
いろいろな操作	16
交通情報を聞く	18
交通情報を受信する	18
交通情報の受信をやめる	18

音楽ディスクの再生 (CD、WMA/MP3、MD)

音楽ディスクの再生	20
再生する	20
詳細情報を表示する (MP3)	22
いろいろな再生操作	22

DVD

DVDビデオの見かた	26
再生する	26
操作タッチキーの表示のしかた	26
ディスクメニューの操作	27
DVDビデオの操作	27
DVDビデオの	
初期設定のしかた	33
初期設定をする	33
言語コード表	36

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーに録音する	38
ミュージックサーバーとは	38
録音についてのご注意	38
CD録音の制限について	38
タイトル表示について	38
CDを自動的に録音する	39
CDを手動で録音する	39
CDの1曲目だけを自動的に録音する	39
録音設定	40
ミュージックサーバーの聴きかた	41
グループ、プレイリスト、 トラックについて	41
再生する	41
詳細情報を表示する	43
いろいろな再生操作	43
お好みプレイリスト	45
マイミックスにトラックを追加する	45
お好みプレイリストに トラックを追加する	45
プレイリストや トラックを編集する	47
プレイリストを編集する	47
タイトル情報を取得する	51
タイトル情報について	51
タイトル情報を取得する	51

オプション機器

(AVIC-HRZ09/HRZ08)

地上デジタルチューナーの	
操作のしかた	54
放送局を選ぶ	54
放送局を記憶する	54
iPodの操作のしかた	55
再生する	55
聴きたい曲を探す	55
いろいろな再生	56
マルチCDプレーヤーの	
操作のしかた	57
再生する	57
いろいろな操作	58
エクスターナルユニットの	
操作のしかた	60
基本操作	60

AV初期設定

(AVIC-HRZ09/HRZ08)

AV初期設定のしかた	62
オーディオ設定をする	62
フェーダー/バランス設定	62
ラウドネス設定	62
イコライザー設定	63
ハイパスフィルター設定	64
サブウーファー設定	65
ソースレベルアジャスター設定	65
音場設定 (VSC)	66
システム設定をする	67
ワイドモード	67
消音タイミング	67
消音レベル	67
ナビ画面リアモニター出力	68
映像入力設定	68
バックカメラ	68
バックカメラ極性	68
AUX設定	68
映像画面時計表示設定	68
5.1ch DSPユニット設定	68
ガイド/ハンズフリーSP設定	69
オートアンテナ連動	69
録音設定	70

AV初期設定

(AVIC-HRV02)

AV初期設定のしかた	72
ワイドモード	72
消音タイミング	72
ナビ画面リアモニター出力	72
VTR設定	72
バックカメラ	73
バックカメラ極性	73
映像画面時計表示設定	73
モニタースピーカー	
AV音声出力	73
録音設定	73
FMトランスミッター設定	73

その他の機能

画面を設定する	76
画質を調節する	76
ワイド画面の拡大方法を切り替える	77
タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション)	78
外部機器の音声を聞く	80
ビデオなどを見る	81
ビデオなどの入力を設定する	81
ビデオなどの見かた	81
バックカメラを使う	82
入力設定をバックカメラに切り替える	82
バックカメラの切り替えかた	82

付録

再生できるディスクの種類	84
ディスクの構成について	86
MP3ディスク、WMAディスクについて	87
Gracenoteについて	89
故障かな?と思ったら	90
エラーメッセージと対処方法	97
索引	100

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVIC-HRZ09/HRZ08)

AV初期設定 (AVIC-HRV02)

その他の機能

付録

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)また、一部のメニュー操作はできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

(例)テレビを見ようとしたとき



リアモニターについて

リアモニター出力に後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

基本操作

オーディオ基本操作	10
基本操作	10
タッチ操作と リモコン操作の違いについて	10
ソースの切り替えかた	10
ソースを切り替える	10
AVソースメニューでソースを選ぶ	11
ソースをOFFにする	11
画面表示の切り替えかた	11
ナビ画面とAVソース画面を切り替える	11
画面を消す（スタンバイ画面）	12
AVソース画面のメニューを消す	12

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV初期設定
(AVC-PD01/PD02)

AV初期設定
(AVC-HV02)


その他の機能

付録

オーディオ基本操作

基本操作

本機はタッチパネルとリモコンのどちらでも操作することができます。

タッチパネルで操作するときは、画面上のタッチキー(項目など)にタッチします。リモコンで操作するときは、ユニバーサルパッドの上/下/左/右に触れることで画面の項目を選び、を押します。












- 本書では、タッチキーまたはリモコンでの操作を説明する場合、「～を選ぶ」と表記しています。
- 音量の調整方法につきましては、『スタートブック』をご覧ください。

■タッチ操作とリモコン操作の違いについて

画面上に表示されるタッチキーのうち、以下のボタンはリモコンで選ぶことはできません。その場合は次のボタンを押して操作します。

タッチキー：リモコンボタン

	:	
	:	
	:	ユニバーサルパッド左/右
	:	ユニバーサルパッド上/下
	:	 

ソースの切り替えかた

CD、ミュージックサーバー、DVDなどの音源や映像のことをソースと呼びます。次の手順で希望のソースに切り替えます。


■ソースを切り替える

1 を押す



- 接続していないソースや、再生の準備ができていないソースには切り替わりません。
- TVやDVDなど映像ソースの場合は、しばらくすると映像に切り替わります。映像画面にタッチするとAVソース画面が再度表示されます。
- 切り替えられるソースは機種ごとに異なります。以下を参照してください。

AVIC-HRZ09/HRZ08

を押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD・CD・ROM(WMA/MP3) → **MSV(ミュージックサーバー)** → **FM** → **AM** → **TV** → **MD*** → **地上デジタルTV** → **iPod** → **M-CD** → **VTR** → **AUX** → **EXT1** → **EXT2** → 元に戻る



※AVIC-HRZ08はMD再生機能を搭載していません。

- EXT1、EXT2は、地上デジタルチューナー、iPodアダプター、マルチCDプレーヤー以外のIPバス機器(エクスターナルユニット)のためのソースです。本機では、2台のエクスターナルユニットをコントロールすることができます(→P60)。
- マルチDVDプレーヤー「XDV-P9 II」など、本機でコントロール可能な映像ソースのエクスターナルユニットを接続したときは、「AV初期設定」の「映像入力設定」を「EXT」に切り替えます。→「ビデオなどを見る」(P81)

- VTRなど、本機でコントロールしない映像機器を接続したときは、「AV初期設定」の「映像入力設定」を「VTR」に切り替えます。→「ビデオなどを見る」(P81)

AVIC-HRV02

[AV] を押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD・CD・ROM(WMA/MP3) → MSV(ミュージックサーバー) → TV → VTR →元に戻る



- VTRなどの映像機器を接続したときは、「AV初期設定」の「VTR設定」を「ON」に切り替えます。→「ビデオなどを見る」(P81)

■AVソースメニューでソースを選ぶ [HRZ]

「AVIC-HRZ09/HRZ08」では、AVソースメニューを表示させてAVソースを選ぶことができます。

1 ⑤を押すかAVソース画面のソース名にタッチする



2 AVソースを選ぶ



- [OFF] を選ぶと、交通情報 (→P18) に切り替わります。

ソースをOFFにする

1 [AV] を1秒以上押す

ソースがOFFになります。もう一度 [AV] を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。



- 「AVIC-HRZ09/HRZ08」では、AVソースメニュー(→前項)で [OFF] を選んでも、AVソースをOFFにすることができます。

画面表示の切り替えかた

■ナビ画面とAVソース画面を切り替える

AVソース画面のときに [ナビ] を押すとナビゲーション画面に、ナビゲーション画面のときに [AV] を押すとAVソース画面に切り替わります。

ナビゲーション画面



AVソース画面



AVソースがONのときは、ソースの音声はそのまま、画面だけが切り替わります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVIC-HRZ08/09)

AV初期設定 (AVIC-HRV02)

その他の機能

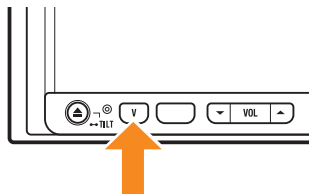
付録

■画面を消す(スタンバイ画面)

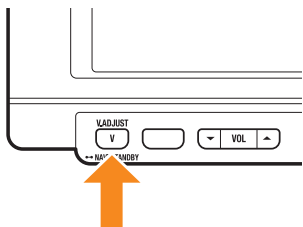
ナビゲーション画面、AVソース画面とも、画面表示を消す(スタンバイ画面にする)ことができます。

7 **V** を2秒以上押す

AVIC-HRZ09/HRZ08



AVIC-HRVO2



▼
画面が消えます。



- 画面が消えているときに画面にタッチするか**V**を押すと、もとの画面が表示されます。
- 画面が表示されているときに**V**を押すと、画質調整画面になります。→「画質を調節する」(P76)

■AVソース画面のメニューを消す

AVソース画面でメニュー表示を消すことができます。

7 **メニュー消** を選ぶ

AVソース画面がソースプレートの表示に切り替わります。

AVソース画面(リスト画面)



▼
ソースプレートのみの画面



- テレビ、DVD、VTRのときは、映像画面に切り替わります。
- 画面にタッチするか**決定**を押すと、AVソース画面に切り替わります。

放送受信

放送の受信	14
テレビやラジオの放送を受信する	14
テレビの放送局を選ぶ	14
音声多重の切り替え(テレビ)	15
リストの切り替え(テレビ)	15
ラジオ(FM、AM)の	
放送局を選ぶ [MRZ]	15
バンドを切り替える	16
プリセットの種類を選ぶ	16
いろいろな操作	16
放送局の自動記憶	16
放送局の手動記憶	17
交通情報を聞く [MRZ]	18
交通情報を受信する	18
交通情報の受信をやめる	18

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

A V初期設定
(AVC-PD08/PD09)

A V初期設定
(AVC-PRV02)

その他の機能

付録

放送の受信

テレビやラジオの基本的な使い方を説明します。

テレビやラジオの放送を受信する

ご注意

- テレビ映像は、停車中でパーキングブレーキがかかっているときに見ることができます。走行中は安全のために、テレビ映像は表示されません。



- 「AVIC-HRVO2」にラジオの受信機能はありません。
- 地上デジタルテレビジョン放送を受信するには、別売のパイオニア製地上デジタルチューナーが必要です。「AVIC-HRZO9/HRZO8」をお使いの場合は、地上デジタルチューナーを本機から操作できます。→「地上デジタルチューナーの操作のしかた」(P54)

1 **AV** を押してソースをTVまたはFM、AMにする(→P10)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



- テレビのAVソース画面は約8秒で消えます。もう一度AVソース画面を表示したいときは、画面にタッチするか、**決定**を押します。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- **AV** を1秒以上押すと、ソースをOFFにすることができます。(→P11)

■ テレビの放送局を選ぶ

1 テレビ映像のときに、画面にタッチする

リモコン操作：テレビ映像のときに、**決定**を押す。

2 放送局名(またはチャンネル名)を選ぶ



操作ボタンで選ぶ場合：

PLST : 放送局リストを順に送ります

TRK : チャンネルを順に送ります

TRK : 受信できる放送局を自動(1秒以上押し)的に探します (SEEK)



- 放送局がリスト表示されていても、現在の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO]が表示され、音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL]が表示されます。
- テレビ映像のときは、ユニバーサルバンドでも同様の操作ができます。

■音声多重の切り替え(テレビ)

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。



- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

1 音声多重切替を選ぶ

選ぶごとに、以下のように切り替わります。
MAIN→SUB→MAIN+SUB→MAINに戻る

MAIN	: 主音声(日本語)
SUB	: 副音声(外国語)
MAIN+SUB	: 主・副音声(日本語+外国語)



- 「MAIN+SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。

■リストの切り替え(テレビ)

表示されるリストの大小を選ぶことができます。

1 リスト小を選ぶ



- すでにリスト小で画面表示されている場合は、タッチキーが**リスト大**となります。



リストの大小を設定して通常画面に戻ります。



- 走行中は、リストの大小の設定に関係なくリスト大で表示されます。

■ラジオ(FM、AM)の放送局を選ぶ **HRZ**

1 放送局名(または周波数)を選ぶ



操作ボタンで選ぶ場合：

- PLIST** : 放送局リストを順に送ります
- TRK** : 周波数を順に送ります
- TRK** : 受信できる放送局を自動的に探します (SEEK)



- 放送局がリスト表示されていても、現在の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。
- ステレオ放送(FM)を受信した場合は、[STEREO]が表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-PR020)

AV初期設定(AVIC-PR002)

その他の機能

付録

■バンドを切り替える

プリセットのバンドを切り替えます。本機では、テレビ、ラジオとも2つのプリセットメモリーがあり、テレビは各12局、ラジオはFM、AM各6局のメモリーを使い分けことができます。

1 バンドを選ぶ

選ぶごとに以下のように切り替わります。

テレビ(各12局)

TV1 ↔ TV2

FM(各6局)

FM1 ↔ FM2

AM(各6局)

AM1 ↔ AM2

■プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶させた放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、ハードディスクに収録されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 ユーザープリセット または エリアプリセット を選ぶ



- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

いろいろな操作

■放送局の自動記憶

バンド(→前項)ごとに、受信状態の良いチャンネルをテレビはTV1とTV2に各12局、ラジオはFM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、自動的に記憶させることができます。

1 BSSM (テレビ)、または BSM (ラジオ)に2秒以上タッチする



中止 を選ぶと、自動記憶を中断します。

ユーザープリセットに放送局が記憶されます。

- 受信状態の良い放送局が記憶可能数より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。
- テレビ映像のときは、**2**を2秒以上押ししても同じ操作が行えます。

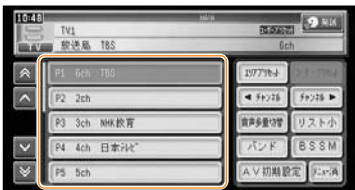
■放送局の手動記憶

ユーザープリセットメモリー（→P16）に、テレビはTV1とTV2に各12局、ラジオはFM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で記憶させることができます（マニュアルプリセット）。

1 ユーザープリセットを選ぶ

2 記憶させたい放送局を選ぶ （→P14）

3 記憶させたいリストのプリセットの枠をピッと鳴るまで選び続ける



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに記憶されます。

幹線道路などで放送されているAMの交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する



- 「[AVIC-HRV02]」に交通情報の受信機能はありません。

交通情報の受信をやめる

1 交通情報 OFF を選ぶ

交通情報を受信する前のソースに戻ります。

1 AVソースメニュー(→P11) で (交通情報) を選ぶ

交通情報画面が表示されます。
前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



1620kHz : 1620kHzにするとき

1629kHz : 1629kHzにするとき



- TRK で周波数を切り替えることもできます。
- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調整しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- ハイウェイモード(→『ナビゲーションブック』)画面内の を選んでも、同じ操作が行えます。

音楽ディスクの再生(CD、WMA/MP3、MD)

音楽ディスクの再生	20
再生する	20
再生画面について	20
詳細情報を表示する (MP3)	22
いろいろな再生操作	22
リPEAT再生	22
ランダム再生	23
スキラン再生	23
ミックスCD内の データ形式の切り替え	24

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミ
ュ
ー
ジ
ック
サ
ー
バ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
機
器

A
V
初
期
設
定
(AVC-P203/P203)

A
V
初
期
設
定
(AVC-PRV02)

そ
の
他
の
機
能

付
録

音楽ディスクの再生

CD、WMA/MP3、MDなどの再生のしかたについて説明します。

再生する



- MDは、「AVIC-HRZ09」のみ再生できます。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P84)をご覧ください。

1 ディスクを挿入する (→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、**[AV]** を押してソースをCD・ROM (WMA/MP3) またはMDに切り替えてください。(→P10)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。特にCD-RWディスクはより時間がかかります。
- [AV]** を1秒以上押すと、ソースをOFFにすることができます。(→P11)

2 聴きたい曲をリストから選ぶ



操作ボタンで選ぶ場合：

- [PLIST]** : フォルダ操作(ROMのみ)
- [TRK]** : トラック/ファイル操作
- [TRK]** : 早戻し/早送り (押し続ける)

■再生画面について

CD (通常再生中)



- [<<]**、**[>>]** : トラック操作
- [<<<]**、**[>>>]** : 早戻し/早送り (選び続ける)
- [>||]** : 一時停止/再生
- [■]** : 停止
- 録音** : MSVへのマニュアル録音
- メディア** : ミックスCD再生時のWMA/MP3への切り替え

CD-REC (録音中)



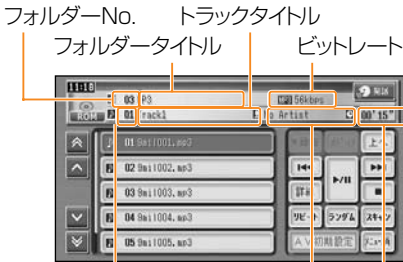
- 録音停止** : MSVへの録音の停止



- 録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックサーバー (MSV) への録音が始まります。すべての曲の録音が終わると通常再生に切り替わります。

- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生(ランダム再生など)はできません。選曲操作が必要な場合は、**録音停止**を選んで録音を中止してください。
- 内蔵のGracenote音楽認識サービス(CDDDB)から情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- ミュージックサーバーへの録音およびタイトル表示については、「ミュージックサーバーに録音する」(→P38)を参照してください。

ROM(WMA/MP3)



トラックNo. アーティスト名
再生中のトラックの経過時間

- ⏮**、**⏭** : ファイル操作
- ⏮**、**⏭** : 早戻し/早送り (選び続ける)
- ▶/⏸** : 一時停止/再生
- : 停止
- メディア** : ミックスCD再生時のCDへの切替
- 上へ** : 一つ上のフォルダーの1曲目を再生
- 詳細情報** : 詳細情報の表示



•MP3はID3 Tag(→P88)からタイトル情報を取得できた場合、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。

- フォルダータイトルは半角27文字、トラックタイトルは半角23文字、アーティスト名は半角16文字まで表示できます。
- MP3は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてソースプレートに表示されます。
- WMAはタグからタイトル情報を取得します。タイトル情報が取得できた場合は、フォルダータイトル、トラックタイトルに表示されます。タイトル情報が取得できない場合は、フォルダー名、ファイル名が表示されます。
- WMAの時にタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、最初に音楽データ(CD)が再生されます。WMA/MP3ファイルを再生するには、**メディア**を選びます。

MD



再生中の曲 再生中のトラックの経過時間

- ⏮**、**⏭** : ファイル操作
- ⏮**、**⏭** : 早戻し/早送り (選び続ける)
- ▶/⏸** : 一時停止/再生



•表示できる文字数に制限があるため、取得したタイトルが長い場合、全て表示できない場合があります。また、半角、全角の混在は表示できません。
•一部、表示できない文字があります。

MDLPIについて

本機はMDLPIに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション

AVC初期設定

AVC初期設定

その他の機能

付録

詳細情報を表示する(MP3)

MP3では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 再生中の曲をリストから選ぶ

2 詳細を選ぶ



ID3 Tagの情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報(ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年)が表示されます。

戻る を選ぶと元の画面に戻ります。

いろいろな再生操作

- CD録音中は **リピート**、**ランダム**、**スキャン**、**メディア** は操作できません。

1 リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをTRACK REPEATにすると再生中の曲を繰り返し聴くことができます。

1 リピートを選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

CD
DISC REPEAT→TRACK REPEAT→DISC REPEATに戻る

WMA/MP3
DISC REPEAT→TRACK REPEAT→FOLDER REPEAT→DISC REPEATに戻る

MD
DISC REPEAT→TRACK REPEAT→DISC REPEATに戻る

DISC REPEAT : 通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。

TRACK REPEAT : 再生中のトラック(曲)を繰り返します。

FOLDER REPEAT : 再生中のフォルダーを繰り返します。(WMA/MP3のみ)

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるDISC REPEATは、ソースプレートに表示されません。

1 ランダム再生

選んだリピートの範囲内（→前項）で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り替わります。

CD、MD : DISC REPEAT

WMA/MP3 : FOLDER REPEAT

- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生、スキャン再生など）やリピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り替えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

2 スキャン再生

選んだリピートの範囲（→P22）で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダーを探すときに使います。

1 リピートの範囲（→P22）を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク（CD）、フォルダー（WMA/MP3）内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲を以下のように指定します。

CD、MD : DISC REPEAT

WMA/MP3 : FOLDER REPEAT



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、上記のリピートの範囲に切り替わります。

聴きたいフォルダーを探すとき(WMA/MP3)

ディスク内の全フォルダーの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲をDISC REPEATに指定します。

2 スキャンを選ぶ



選ぶごとに、スキャン再生のON/OFFが切り替わります。



- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、もう一度スキャンを選ぶ

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダー/グループが再生されます。



- スキャン再生中にその他の再生（リピート再生、ランダム再生など）やリピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り替えなど）を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-PH020)

AV初期設定(AVIC-PH002)

その他の機能

付録

■ ミックスCD内のデータ形式の切り替え

CD-ROM、CD-R/RWなどで、音楽データ（CD）とWMA/MP3形式のデータが混在しているディスク（ミックスCD）の場合に形式を切り替えます。

1 メディアを選ぶ



再生するデータ形式が切り替わります。

- ✎ 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

DVDビデオの見かた 26

再生する 26

操作タッチキーの表示のしかた 26

操作タッチキー1 (1ページ目) 26

操作タッチキー2 (2ページ目) 26

ディスクメニューの操作 27**DVDビデオの操作 27**

チャプターを進める/戻す 27

タイトルを進める/戻す 27

一時停止/再生 28

コマ送り再生 28

スロー再生 28

再生を停止する 28

CMスキップ/バック 29

ブックマークの記憶 29

ダイレクトサーチ 30

字幕言語の切り替え 30

音声言語の切り替え 30

アングルの切り替え 31

リターン再生 31

リピート範囲の設定 31

音声出力の切り替え 32

DVDビデオの初期設定のしかた 33**初期設定をする 33**

基本字幕言語 33

基本音声言語 33

メニュー言語 34

アシスト字幕 34

マルチアングル 34

テレビアスペクト 34

視聴制限 35

オートプレイ 35

言語コード表 36

DVDビデオの見かた

DVDビデオを見るときのお操作のしかたについて説明します。

再生する



- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P84)をご覧ください。

ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

1 DVDを挿入する

自動的に再生が始まります。



- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、**[AV]**を押して、ソースをDVDに切り替えてください。(→P10)
- ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。→「ディスクメニューの操作」(P27)
- DVDの録音レベルは他のソースより低いため、他のソースからDVDに切り替えると、音が小さく感じられる場合があります。AVIC-HRZ09/HRZ08をお使いの場合、ソースレベルアジャスターでソースごとの音量の差をそろえることができます。→「オーディオ設定をする」(P62)
- [AV]**を1秒以上押すと、ソースをOFFにすることができます。(→P11)

操作タッチキーの表示のしかた

DVDの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。

1 再生中に画面にタッチするか

[決定]を押す



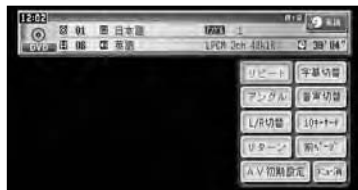
- [メニュー消]**を選ぶか**[戻る]**を押すと操作タッチキーは消えます。

■ 操作タッチキー1(1ページ目)



- [次ページ]**を選ぶと2ページ目の操作タッチキーを表示させることができます。

■ 操作タッチキー2(2ページ目)



- [前ページ]**を選ぶと1ページ目の操作タッチキーに戻ります。

ディスクメニューの操作

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

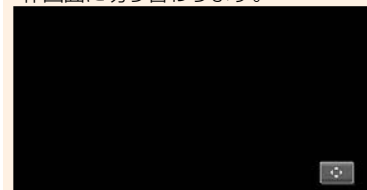
1 操作タッチキー1 (→P26) の トップメニュー または メニュー を選ぶ



2 ◀ ▶ ▲ ▼ でメニューを操作 して 決定 にタッチする



- リモコン操作中は次の画面が表示されます。画面にタッチすると、タッチ操作画面に切り替わります。



DVDビデオの操作

- ここで説明されている各機能は、ディスクや再生位置によって、ⓧ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

1 チャプターを進める/戻す

チャプターを前後に送ったり、早送り/早戻しをすることができます。

1 操作タッチキー1 (→P26) の ◀▶ または ▶▶ を選ぶ



- ◀ TRK ▶ でも操作できます。
- ◀▶ / ▶▶ または ◀ TRK ▶ を選び続けると、早戻し/早送りの動作となります。約5秒以上選び続けると、早送り/早戻しのままになります。通常の再生に戻すには、▶▶ を選びます。

1 タイトルを進める/戻す

タイトルを順に進めたり戻したりすることができます。

1 ◀ PLIST ▶ を押す

- 操作タッチキーではこの操作はできません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージック
サーバーオプション
機器AV初期設定
(AVC-PH02H20)AV初期設定
(AVC-PH02)

その他の機能

付録

■一時停止/再生

再生中の映像を一時停止して静止画にした
り、通常の再生に戻すことができます。

1 操作タッチキー1(→P26)の ▶/|| を選ぶ



- 通常の再生に戻すには、もう1度 ▶/|| を選びます。
- ▶/|| を選んでも一時停止します。

■コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進め
て見るすることができます。

1 操作タッチキー1(→P26)の ▶▶ を選ぶ

2 ▶▶ を選ぶ

選ぶごとに、映像が1コマずつ送られます。



- 通常の再生に戻すには、▶/|| を選びます。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

■スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができ
ます。

1 操作タッチキー1(→P26)の ||▶ を選ぶ

2 ||▶ を選び続ける

送り方向にスロー再生されます。



- 通常の再生に戻すには、▶/|| を選びます。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

■再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

1 操作タッチキー1(→P26)の ■ を選ぶ



- 通常の再生に戻すには、▶/|| を選びます。
- 再生を停止した場所を記憶し、次回ディスクを再生したときは前回の続きから再生されます(ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。

CMスキップ/バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り/早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 操作タッチキー1(→P26)のCMスキップまたはCMバックを選ぶ





選ぶごとに以下のような秒数で、早送り/早戻しされます。

CMスキップ : 「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→「30秒」に戻る

CMバック : 「5秒」→「15秒」→「30秒」(早戻し) →「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→「5秒」に戻る

ブックマークの記憶

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

- 1枚のディスクに **ブックマーク** と  (ディスク取り出しボタン)の両方を記憶することができます。その場合、 (ディスク取り出しボタン)で記憶したブックマークが優先されます。

再生中に記憶する

1 操作タッチキー1(→P26)のブックマークを選ぶ



選んだ場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク** を2秒以上選びます。

- ブックマークの記憶は、ディスク1枚につき1場面記憶でき、ディスク5枚分のブックマークを記憶します。
- 5枚を超えて新しいディスクにブックマークが記憶されると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

ディスク取り出しの際に記憶する

1 再生中に (ディスク取り出しボタン)を2秒以上押してからディスクを取り出す

ボタンが押されたときに再生中だった場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

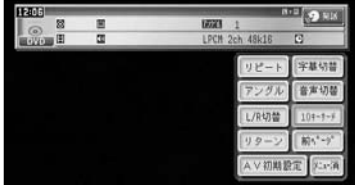
消去する場合は、 (ディスク取り出しボタン)を短く押してディスクを取り出します。

- ブックマークの記憶は、ディスク1枚分のブックマークを記憶します。

■ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 操作タッチキー2(→P26)の10キーサーチを選ぶ



2 TITLE、CHAPTER、TIME、10キーモードのいずれかを選ぶ



3 見たい場面の番号を入力し、決定を選ぶ

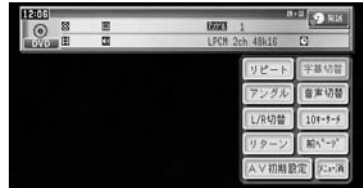
TITLE	: タイトル番号を入力します
CHAPTER	: チャプター番号を入力します
TIME	: 時間を分・秒で入力します。 分、秒を選ぶと分と秒を確定します
10キーモード	: 数字のコマンドを入力します

指定した場面から再生を始めます。

■字幕言語の切り替え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます(マルチ字幕)。

1 操作タッチキー2(→P26)の字幕切替を選ぶ



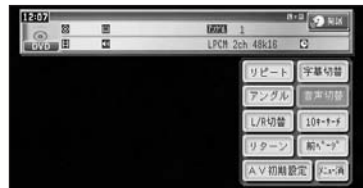
選ぶごとに、字幕言語が切り替わります。

- DVDパッケージについている(2)マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。

■音声言語の切り替え

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます(マルチ音声)。

1 操作タッチキー2(→P26)の音声切替を選ぶ



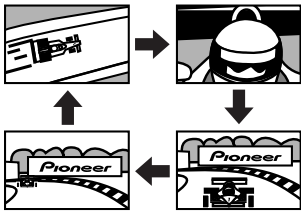
選ぶごとに、音声言語が切り替わります。

- DVDのパッケージについている(2))マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。

- DTS音声は、デジタル出力のみ対応しています。本機のデジタル出力を接続していない場合、DTS音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- [Dolby D]や[5.1ch]などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

■アングルの切り替え

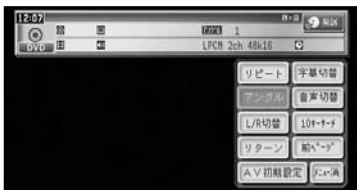
複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます(マルチアングル)。




- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

7 操作タッチキー2(→P26)の アングル

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えが行えます。



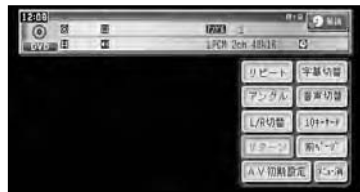
選ぶごとに、アングルが切り替わります。

- DVDパッケージについている  マークの数字がアングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示の表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P34)

■リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

7 操作タッチキー2(→P26)の リターン

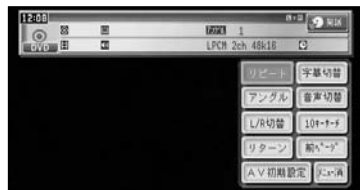


ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

■リピート範囲の設定

リピートとは繰り返して再生する範囲を指定することです。例えば、リピートをCHAPTER REPEATにすると再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

7 操作タッチキー2(→P26)の リピート



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

DISC REPEAT→CHAPTER REPEAT→TITLE REPEAT→DISC REPEATに戻る

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-PR02H20)

AV初期設定(AVIC-PR02)

その他の機能


付録

DISC : 通常の再生状態です。再生
REPEAT 中のディスクを繰り返しま

CHAPTER : 再生中のチャプターを
REPEAT 繰り返します。

TITLE : 再生中のタイトルを繰り返
REPEAT します。



- 設定したリピート範囲は、ソースプレートに表示されます。
- 通常再生であるDISC REPEATは、ソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り替えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ (→P35) の設定がONのときは機能しません。

■音声出力の切り替え

音声のリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り替えます。

7 操作タッチキー2(→P26)の

L/R切替 を選ぶ



選ぶごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り替わります。

L+R→L→R→L+Rに戻る

L : 左の音声を出力

R : 右の音声を出力

L+R : 左右両方の音声を出力



選んだ側の音声を出力します。

DVDビデオの初期設定のしかた

DVD機能をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

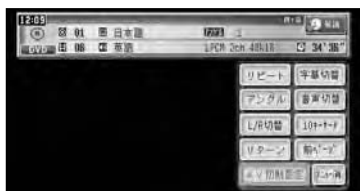
初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示／非表示
- アングル選択マークの表示／非表示
- テレビアスペクト（画面の縦横比）
- 視聴制限（パレンタルロック）
- オートプレイのON/OFF

初期設定をする

1 操作タッチキー2(→P26)の

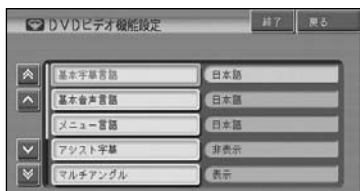
AV初期設定を選ぶ



2 DVDビデオ機能設定



3 各項目を選び、設定を行う



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

基本字幕言語

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます（マルチ言語字幕）。工場出荷時は「日本語」です。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、その他から選びます。



- 「**その他**」を選んだときは、「言語コード表」（→P36）より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている字幕言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した基本字幕言語が優先されない場合があります。

基本音声言語

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます（マルチ音声）。工場出荷時は「日本語」です。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、その他から選びます。



- 「**その他**」を選んだときは、「言語コード表」（→P36）より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている音声言語が選ばれます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AV-CH020)

AV初期設定 (AV-CH002)

その他の機能

付録

■メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。
工場出荷時は「日本語」です。

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、

イタリア語、スペイン語、中国語、その他

から選びます。



- **その他** を選んだときは、「言語コード表」(→P36)より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。

■アシスト字幕

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。
工場出荷時は「非表示」です。

表示 : アシスト字幕を表示する

非表示 : アシスト字幕を表示しない

■マルチアングル

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。
工場出荷時は「表示」です。

表示 : アングルマークを表示する

非表示 : アングルマークを表示しない



- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像(マルチアングル)が収録されているディスクに対して有効です。

■テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト(画面の縦横比)を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

16:9 : ワイドモニター(16:9)使用時に選びます。
16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

レターボックス : ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。
16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

パンスカン : ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。
16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します(左右にはみ出た映像は表示されません)。



- 通常は **16:9** に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスカン** に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで **16:9 PS** マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

■ 視聴制限

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。

設定レベル：内容

8	：ディスクを全て再生する
7~2	：成人向けディスクの再生を禁止する(子供向けや一般向けディスクを再生する)
1	：子供向けのディスクのみ再生する



- **視聴制限** を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されますので、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で、数字が入力されていない状態のとき **訂正** に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

■ オートブレイ

DVDディスクを挿入したときに、メニューの若いタイトルから自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

ON	：自動再生する
OFF	：自動再生しない



- オートブレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートブレイをOFFにして再生してください。
- オートブレイの設定がONの時はリピート再生は機能しません。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード	言語名 (言語コード)	入カコード	言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001	グアラニ語 (gn)	0714	アフガニスタン語 (ps)	1619
英語 (en)	0514	グジャラート語 (gu)	0721	ケチュア語 (qu)	1721
フランス語 (fr)	0618	ハウサ語 (ha)	0801	レートロマン語 (rm)	1813
スペイン語 (es)	0519	ヒンディー語 (hi)	0809	キルンディ語 (rn)	1814
ドイツ語 (de)	0405	クロアチア語 (hr)	0818	ローマ語 (ro)	1815
イタリア語 (it)	0920	ハンガリー語 (hu)	0821	キニヤルワンダ語 (rw)	1823
中国語 (zh)	2608	アルメニア語 (hy)	0825	サンスクリット語 (sa)	1901
オランダ語 (nl)	1412	国際語 (ia)	0901	シンド語 (sd)	1904
ポルトガル語 (pt)	1620	interlingue (ie)	0905	サンド語 (sg)	1907
スウェーデン語 (sv)	1922	イヌビアク語 (ik)	0911	サルボアクロアチア語 (sh)	1908
ロシア語 (ru)	1821	インドネシア語 (in)	0914	セイロン語 (si)	1909
韓国語 (ko)	1115	アイスランド語 (is)	0919	スロバク語 (sk)	1911
ギリシャ語 (el)	0512	ヘブライ語 (iw)	0923	スロベニア語 (sl)	1912
アファル語 (aa)	0101	イディッシュ語 (ji)	1009	サモア語 (sm)	1913
アバジヤ語 (ab)	0102	ジャワ語 (jw)	1023	ショナ語 (sn)	1914
アフリカーンス語 (af)	0106	グルジア語 (ka)	1101	ソマリ語 (so)	1915
アムハラ語 (am)	0113	カザフ語 (kk)	1111	アルバニア語 (sq)	1917
アラビア語 (ar)	0118	グリーンランド語 (kl)	1112	セルビア語 (sr)	1918
アッサム語 (as)	0119	カンボジア語 (km)	1113	シスワティ語 (ss)	1919
アイマラ語 (ay)	0125	カンナダ語 (kn)	1114	セストゥ語 (st)	1920
アゼルバイジャン語 (az)	0126	カシミール語 (ks)	1119	スندا語 (su)	1921
バシキール語 (ba)	0201	クルド語 (ku)	1121	スワヒリ語 (sw)	1923
ベラルーシ語 (be)	0205	キルギス語 (ky)	1125	タミル語 (ta)	2001
ブルガリア語 (bg)	0207	ラテン語 (la)	1201	テルグ語 (te)	2005
ビハारी語 (bh)	0208	リンガラ語 (ln)	1214	タジル語 (tg)	2007
ビスラマ語 (bi)	0209	ラオス語 (lo)	1215	タイ語 (th)	2008
ベンガル語 (bn)	0214	リトアニア語 (lt)	1220	チグリ語 (ti)	2009
チベット語 (bo)	0215	ラトビア語 (lv)	1222	ツルキ語 (tk)	2011
ブルトン語 (br)	0218	マダガスカル語 (mg)	1307	タガログ語 (tl)	2012
カタロニア語 (ca)	0301	マオリ語 (mi)	1309	セツワナ語 (tn)	2014
コルシカ語 (co)	0315	マケドニア語 (mk)	1311	トンガ語 (to)	2015
チェコ語 (cs)	0319	マラヤーラム語 (ml)	1312	トルコ語 (tr)	2018
ウェールズ語 (cy)	0325	モンゴル語 (mn)	1314	ツォンガ語 (ts)	2019
デンマーク語 (da)	0401	モルダビア語 (mo)	1315	タター語 (tt)	2020
ブータン語 (dz)	0426	マラータ語 (mr)	1318	トウィ語 (tw)	2023
エスペラント語 (eo)	0515	マライ語 (ms)	1319	ウクライナ語 (uk)	2111
エストニア語 (et)	0520	マルタ語 (mt)	1320	ウルドゥー語 (ur)	2118
バスク語 (eu)	0521	ビルマ語 (my)	1325	ウズベク語 (uz)	2126
ベルシア語 (fa)	0601	ナウル語 (na)	1401	ベトナム語 (vi)	2209
フィンランド語 (fi)	0609	ネパール語 (ne)	1405	ボラビュク語 (vo)	2215
フィジー語 (fj)	0610	ノルウェー語 (no)	1415	ウォルフ語 (wo)	2315
フェロー語 (fo)	0615	プロバンス語 (oc)	1503	コーサ語 (xh)	2408
フリジア語 (fy)	0625	オロモ語 (om)	1513	ユルバ語 (yo)	2515
アイルランド語 (ga)	0701	オリヤー語 (or)	1518	ズールー語 (zu)	2621
スコットランドゲール語 (gd)	0704	パンジャブ語 (pa)	1601		
ガルシア語 (gl)	0712	ポーランド語 (pl)	1612		

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーに録音する	38	プレイリストやトラックを編集する	47
ミュージックサーバーとは	38	プレイリストを編集する	47
録音についてのご注意	38	プレイリストまたはトラックの 詳細情報を表示する	47
CD録音の制限について	38	プレイリストの再生順を変更する	47
タイトル表示について	38	プレイリストまたはトラックの タイトルやよみを変更する	48
CDを自動的に録音する	39	プレイリストまたはトラックの アーティスト名を変更する	48
CDを手動で録音する	39	グループからプレイリストを消去する	49
CDの1曲目だけを自動的に録音する	39	トラックのジャンルを変更する	49
録音設定	40	プレイリストから トラックを消去する	49
ミュージックサーバーの聴きかた	41	お好みプレイリストの トラック再生順を変更する	50
グループ、プレイリスト、 トラックについて	41	タイトル情報を取得する	51
再生する	41	タイトル情報について	51
リストを切り替える	42	取得できる情報	51
詳細情報を表示する	43	NO TITLE表示について	51
いろいろな再生操作	43	タイトル情報を取得する	51
リピート再生	43			
ランダム再生	44			
スキャン再生	44			
お好みプレイリスト	45			
マイミックスにトラックを追加する	45			
お好みプレイリストに トラックを追加する	45			

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV初期設定
(AVC-P03/P02)

AV初期設定
(AVC-HV02)

その他の機能

付録

ミュージックサーバーに録音する

音楽用CDの音楽を、本機のハードディスクに録音することができます。

ミュージックサーバー (MSV) とは

音楽CDを本機のハードディスクに録音していろいろな方法で再生できる機能です。ミュージックサーバーを楽しむには、まずCDから音源を録音することから始めます。



- ミュージックサーバーには、CD約200枚分の録音ができます。

録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

CD録音の制限について

- 標準的なCD(44.1kHz、16ビットステレオのPCMデジタル音声データ)以外のCDからは録音できません。
- コピーコントロールCDの録音については保証していません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体(CD-Rなど)から、ミュージックサーバーに録音(コピー)することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)の動きによるものです。

- WMA/MP3などの音楽データファイルを記録した媒体(CD-Rなど)から、ミュージックサーバーに録音することはできません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音しているときにエンジンを停止して電源がOFFになった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。

タイトル表示について

内蔵のGracenote音楽認識サービス(CDDb)から情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていない場合は、「No Title」と表示されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができます場合があります。
→「タイトル情報を取得する」(P51)
- CD再生中画面やCD→MSV録音中画面に表示されるタイトル情報は、ミュージックサーバーと共通のタイトル情報を使用しています。ミュージックサーバーでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が1曲以上ミュージックサーバーに録音されていないと編集できません。
→「プレイリストを編集する」(P47)

CDを自動的に録音する

録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックサーバー(MSV)への録音が始まります。

1 録音モードをオートにする

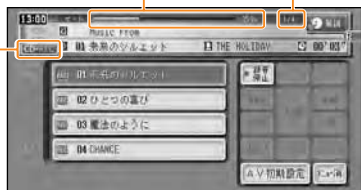
工場出荷時は「オート」です。→「録音設定」(P40)

2 録音したいCDを挿入する

自動的に録音が始まります。

CD-REC (録音中画面)

録音表示 録音プログレスバー 録音済み曲数



- 録音中の曲はREC (赤)、未録音の曲にはREC (青)、録音が完了した曲には▶が付きます。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生(ランダム再生など)はできません。選曲操作が必要な場合は、**録音停止**を選んで録音を中止してください。
- 全ての曲の録音が終わるとCD再生画面に切り替わります。
- CDからの録音は4倍速で録音しています。録音中に再生している音はミュージックサーバーに録音された音になります。
- CD録音中に他のソースを楽しむことができます。他のソースに切り替えてもCDの録音は継続しています。
- 録音中は、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

CDを手動で録音する

CDの中から、好みの曲だけを録音することができます。

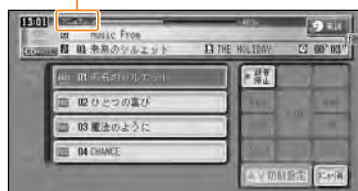
1 録音モードをマニュアルにする

→「録音設定」(P40)

2 録音したい曲を再生する

3 録音を選ぶ

「マニュアル」表示



再生中の曲は始めに戻って録音が始まります。録音が終了すると、CD再生画面に切り替わります。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

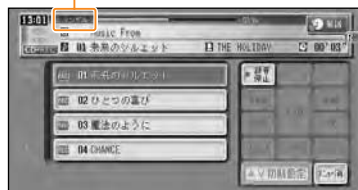
CDの1曲目だけを録音することができます。シングルCDなどを連続して録音するときには便利なモードです。

1 録音モードをシングルにする

→「録音設定」(P40)

2 録音したいCDを挿入する

「シングル」表示



自動的に録音が始まります。1曲目の録音が終了すると、CD再生画面に切り替わります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-PR02H20)

AV初期設定(AVIC-PR02D)

その他の機能

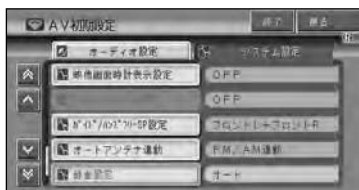
付録

録音設定

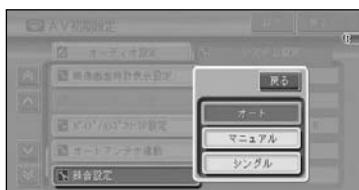
CDの録音モード（オート、マニュアル、シングル）の録音設定を行います。

✎ •録音中は設定できません。

1 AV初期設定 — 録音設定 を選ぶ



2 設定する



オート : CDを再生すると、自動的に全ての曲を録音します
工場出荷時の設定です

マニュアル : 録音したい曲を手動で選び、録音します

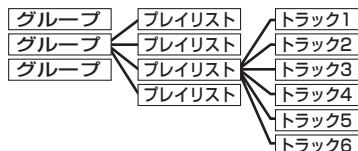
シングル : CDの1曲目だけを自動的に録音します

ミュージックサーバーの聴きかた

ハードディスクに録音した音楽は、ミュージックサーバー（MSV）というソースで聴きます。

グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの3つの階層で構成されています。



グループには以下のようなものがあります。

アルバムグループ : 録音した曲データそのものが格納されているグループです。CDを1枚録音すると1つのプレイリストが作成されます。

アーティストグループ : タイトル情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

ジャンルグループ : 録音されたトラックのジャンル情報別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

お好みグループ : ユーザーが好みに応じて作成したお好みの曲順プレイリストが格納されているグループです。

再生する



ミュージックサーバーに録音した曲を再生します。

1 を押してソースをMSVにする (→P10)


前回再生していたトラックリストが表示され、再生されます。

2 聴きたい曲(トラック)を選ぶ




  : トラック操作


  : 早戻し/早送り (選び続ける)

 : 一時停止/再生

MY MIX : お好みグループのマイミックスへの登録


操作ボタンで選ぶ場合：

 : プレイリストを順に送る

 : トラックを順に送る

 : 早戻し/早送り (押し続ける)



- 再生中のトラックには、項目名の頭に♪マークが付きます。
-  を2秒以上押すとソースをOFFにすることができます。(→P11)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AV-CH02)

AV初期設定 (AV-CH02)

その他の機能

付録

1 リストを切り替える

ソースをミュージックサーバーに切り替えるとトラックリストが表示されます。聴きたい曲を探するときなど、リストをプレイリストのリスト表示、グループのリスト表示に切り替えることができます。

7 トラックリスト表示中に「上へ」を選ぶ



プレイリストがリスト表示されます。



2 プレイリストのリスト表示中に「上へ」を選ぶ



グループリストが表示されます。



- トラックリストやプレイリスト表示中に「曲を探す」を選ぶと、グループリストを表示することができます。

詳細情報を表示する

現在再生中のプレイリストやトラックの詳細情報を表示することができます(詳細情報)。

1 詳細を選ぶ



詳細情報(タイトル、よみ、アーティスト、登録数など)が表示されます。

戻る を選ぶと、元の画面に戻ることができます。



- **タイトル**、**よみ**、**アーティスト** を選ぶと、それぞれの編集画面が表示され、編集することができます。→「プレイリストやトラックを編集する」(P47)

いろいろな再生操作

いろいろな再生操作をすることができます。

1 リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをトラックリピートにすると再生中のトラックを繰り返して聴くことができます。

1 リピートを選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

GROUP REPEAT→TRACK REPEAT→PLAYLIST REPEAT→GROUP REPEAT に戻る

GROUP REPEAT : 通常の再生状態です。再生中のグループを繰り返します。

TRACK REPEAT : 再生中のトラックを繰り返します。

PLAYLIST REPEAT : 再生中のプレイリストを繰り返します。



- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- TRACKリピート再生中に、ランダム再生、スキャン再生を行うと、リピート範囲はPLAYLIST REPEATに切り替わります。
- 通常再生であるGROUP REPEATは、ソースプレートに表示されません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-PR02H20)

AV初期設定(AVIC-PR02)

その他の機能

付録

■ ランダム再生

選んだリピートの範囲内 (→P43) で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

1 ランダム を選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。

- ✎ •リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り替わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキャン再生など)やリピートの範囲を超える操作(プレイリストの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

■ スキャン再生

選んだリピートの範囲 (→P43) で、各トラックや各プレイリストの先頭曲の演奏開始部分を約10秒間ずつ聞くことができます。

1 スキャン を選ぶ



選ぶごとに、スキャンのON/OFFが切り替わります。

- ✎ •聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度 **スキャン** を選びます。
- スキャン再生を始めたトラックまで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- スキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を超える操作(プレイリストの切り替えなど)を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

お好みプレイリスト

アルバム、アーティスト、ジャンルの各グループのプレイリストから、曲（トラック）を選んで編集し、お好みのプレイリストを作成することができます。

お好みプレイリストには、再生中の曲をワンタッチで登録できる「マイミックス」と、トラックやプレイリストの詳細情報画面から曲を選曲して登録する「お好みプレイリスト（1~4）」があります。

マイミックスにトラックを追加する

再生中に、気に入った曲（トラック）を、マイミックスというプレイリストにワンタッチで登録することができます。登録した曲は、好きなときに呼び出して聴くことができます。

1 再生中に **MY MIX** を2秒以上選ぶ



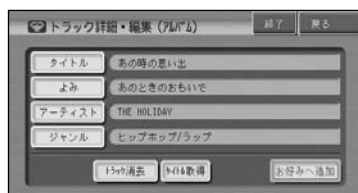
再生中の曲が、マイミックスに登録されます。

- マイミックスには99トラックまで登録することができます。

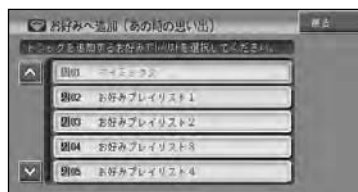
お好みプレイリストにトラックを追加する

お好みのトラック（曲）だけを集めて、1つのプレイリストに登録することができます。登録するプレイリストは、マイミックス以外に4つのプレイリストが用意されています。登録した曲は、好きなときに呼び出して聴くことができます。

1 トラックやプレイリスト詳細編集画面（→P47）で **お好みへ追加** を選ぶ



2 追加するプレイリスト（1~4）またはマイミックスを選ぶ



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVC-PH202)

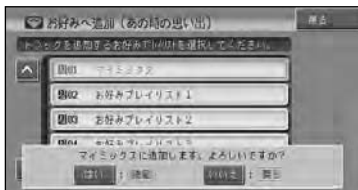
AV初期設定 (AVC-PH02)

その他の機能

付録

3 はい にタッチする

リモコン操作：(OK)を押す。



選んだトラックが、お好みプレイリストに登録されます。



- 1つのプレイリストには99トラックまで登録することができます。

プレイリストやトラックを編集する

ミュージックサーバーに録音した曲やお好みで作成したプレイリストの編集や削除をすることができます。

プレイリストを編集する

アルバム、お好みの各グループに登録されているプレイリストの情報を編集します。



- アーティストグループのプレイリスト（「よみ」を除く）およびジャンルグループのプレイリストは編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されます。

1 プレイリストまたはトラックの詳細情報を表示する

プレイリストまたはトラックの詳細情報を表示します。この画面からよみなどの編集をすることができます。

1 編集したいプレイリストまたはトラックを再生する

2 詳細を選ぶ

詳細情報画面が表示されます。



タイトル、よみ : プレイリストやトラックのタイトルやよみを変更します(→P48)

アーティスト : プレイリストのアーティスト名を変更します(→P48)

登録数 : 選んだプレイリストに登録されているトラック数が表示されます

再生順変更 : プレイリストの再生順を変更します(→次項)

プレイリスト消去 : プレイリストを消去します(→P49)

トラック消去 : プレイリストの中からトラックリストを選んで消去します(→P49)

ジャンル : トラックのジャンルを変更します(→P49)

タイトル取得 : アルバムグループのプレイリスト内トラックのタイトル情報を取得します(→P51)

お好みへ追加 : 現在再生中のトラックを、お好みプレイリストに登録します(→P51)

1 プレイリストの再生順を変更する

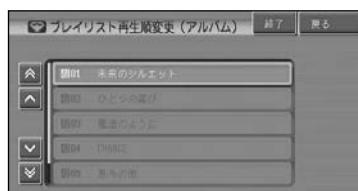
アルバム、お好みの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。



- アーティストグループやジャンルグループは再生順を変更できません。

1 詳細情報画面(→前項)で再生順変更を選ぶ

2 順番を変更したいプレイリストを選ぶ



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

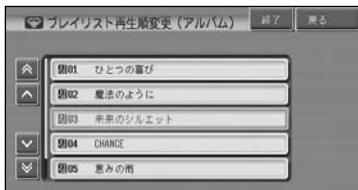
AV初期設定(AVIC-PR02H20)

AV初期設定(AVIC-PR02)

その他の機能

付録

3 移動先を選ぶ



4 終了にタッチする

リモコン操作：(戻る)を押す。

- (戻る) を選ぶと引き続き他の情報を編集することができます。

■プレイリストまたはトラックのタイトルやよみを変更する

プレイリストまたはトラックのタイトルとよみを変更します。タイトルは表示用に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルはCDやミュージックサーバーの再生画面に表示されます。

- アーティストグループのプレイリストは、「よみ」のみ変更できます。

1 詳細情報画面 (→P47) でタイトルまたはよみを選ぶ

2 文字を入力して入力終了を選ぶ

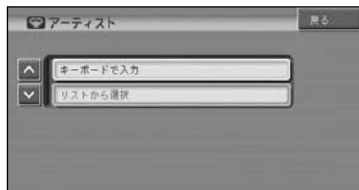
詳細情報画面に戻ります。

■プレイリストまたはトラックのアーティスト名を変更する

アルバムグループ内のプレイリストまたはトラックのアーティスト名を変更します。

1 詳細情報画面 (→P47) でアーティストを選ぶ

2 リストから選択を選ぶ



- キーボードで入力 を選ぶと文字入力画面になり、名称をキーボードで入力できます。

3 アーティストを選ぶ



4 はいにタッチする

リモコン操作：(決定)を押す。



詳細情報画面に戻ります。

■グループからプレイリストを消去する

アルバムグループに登録されているプレイリストを消去します。

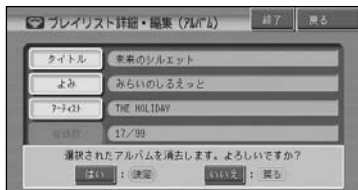


- アルバムグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックおよびプレイリストがお好みグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。

1 詳細情報画面 (→P47) でプレイリスト消去を選ぶ

2 はいにタッチする

リモコン操作：(OK)を押す。



■トラックのジャンルを変更する

1 詳細情報画面 (→P47) でジャンルを選ぶ

2 ジャンルを選ぶ



トラック詳細情報画面に戻ります。

■プレイリストからトラックを消去する

アルバムグループ、お好みグループのプレイリスト内のトラックを消去します。消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

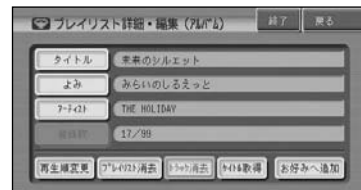
アルバム : ユーザーが録音した曲
グループのトラック : データが消去されます

お好み : ユーザーが作成した曲順
グループのトラック : データが消去されます



- アルバムプレイリストのトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがお好みグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。
- アーティストグループ、ジャンルグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。

1 詳細情報画面 (→P47) でトラック消去を選ぶ



2 消去したいトラックを選ぶ



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVC-PH020)

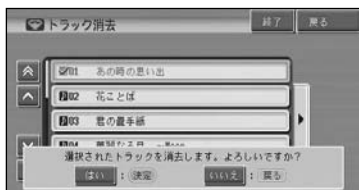
AV初期設定 (AVC-PH02)

その他の機能

付録

- ▶ を選んでサブメニューを表示すると、**全選択**が表示され全ての曲を選択することができます。選択を解除するには、**全解除** または解除したい曲を選びます。

3 終了 — はい を選ぶ



■ お好みプレイリストのトラック再生順を変更する

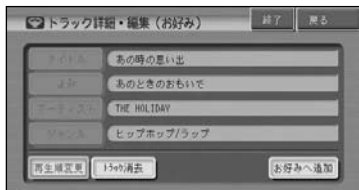
お好みプレイリスト内のトラックの再生順を変更します。

- ▶ アルバムプレイリストやアーティスト、ジャンルのプレイリストは、再生順を変更することはできません。

1 編集したいお好みプレイリストのトラックを再生する

2 詳細 を選ぶ

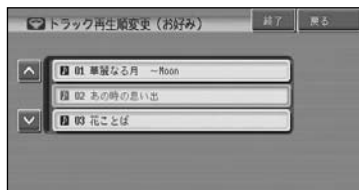
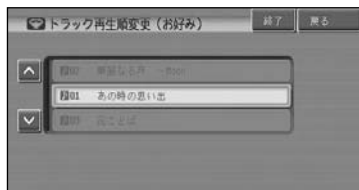
3 再生順変更 を選ぶ




4 順番を変更したいトラックを選ぶ



5 移動先を選ぶ



6 終了 にタッチする

リモコン操作：  を押す。

タイトル情報を取得する

ハードディスク内のGracenote音楽認識サービス（CDDDB）にタイトル情報が見つからなかったときは、インターネットからタイトル情報を取得することができます。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CDやミュージックサーバーの再生画面などに表示されます。

■取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル



- タイトル情報は、ハードディスクから探します。見つからないときは通信から探すこともできます。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で探すには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。（→『ナビゲーションブック』）

■NO TITLE 表示について

CDに「NO TITLE」、ミュージックサーバーに録音された日付・時刻（例：CD-09/10/15 21:23）と表示された場合は、次のことが考えられます。

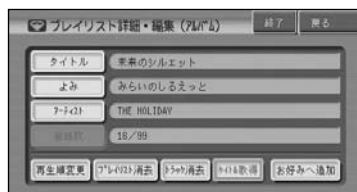
- タイトル情報が見つからなかった
 - タイトル情報が複数候補あった
- タイトル情報が複数候補あった場合は、タイトル情報の取得を行うと、複数のタイトルの中から選択することができます。

タイトル情報を取得する

タイトル情報の取得は、本機のGracenote音楽認識サービス（CDDDB）から検索されます。該当する情報がなかった場合は、インターネットのGracenote音楽認識サービス（CDDDB）から探すこともできます。

1 アルバムグループ内のプレイリストまたはトラックの詳細情報画面（→P47）を表示する

2 タイトル取得 を選ぶ



自動的に情報の検索が開始されます。



- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。

つづく➔

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

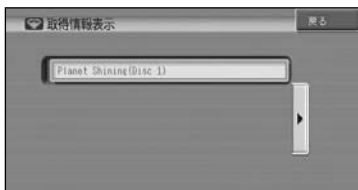
AV初期設定 (AVC-PH020)

AV初期設定 (AVC-PH002)

その他の機能

付録

3 タイトルを選ぶ



- ハードディスクからの取得情報表示画面でリスト内にタイトル情報が見当たらない場合は、▶を選んでサブメニューから通信で取得を選ぶと、通信でタイトル情報を取得することができます。

4 終了にタッチする

リモコン操作：◀を押す。

- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

オプション機器 (AVIC-HRZ09/HRZ08)

地上デジタルチューナーの

操作のしかた 54

放送局を選ぶ 54

放送局を記憶する 54

iPodの操作のしかた 55

再生する 55

聴きたい曲を探す 55

いろいろな再生 56

リPEAT再生 56

シャッフル再生 56

マルチCDプレーヤーの

操作のしかた 57

再生する 57

再生画面について 57

CD TEXTについて 57

いろいろな操作 58

リPEAT再生 58

ランダム再生 58

スキャン再生 58

エクスターナルユニットの

操作のしかた 60

基本操作 60

操作例 60

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVIC-HRZ09/HRZ08)

AV初期設定 (AVIC-HRZ02)

その他の機能

付録

接続したパイオニア製地上デジタルチューナーを本機で操作することができます。



- 地上デジタルチューナーは別売です。
- 「AVIC-HRZ09/HRZ08」に地上デジタルチューナーを接続したときは、地上デジタルチューナーを「IP-BUSモード」に設定してください。
- 「AVIC-HRVO2」に地上デジタルチューナーを接続しても、本機で操作することはできません。地上デジタルチューナーは「STAND ALONEモード」でお使いください。
- 地上デジタルテレビジョン放送については、別添えの「地上デジタルテレビジョン放送について」をご覧ください。

1 [AV] を押してソースを地上デジタルTVにする(→P10)

ソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



- 地上デジタルTVのソース画面は約8秒で消えます。もう一度ソース画面を表示したいときは、画面にタッチするか(球)を押します。

放送局を選ぶ

1 テレビ映像のときに、画面にタッチする

2 プリセットチャンネルを選ぶ



◀チャンネル、**▶チャンネル** : 物理チャンネルを順に送り
ります

サービス切換 : サービスを切り替えます

バンド : バンドを切り替えます

スキャン : チャンネルスキャンを開
(2秒以上選ぶ) 始します

操作ボタンで選ぶ場合：

[PUSH] : 放送局リストを順に送り
ます

[TRK] : 物理チャンネルを順に送
ります

[TRK] : 受信できるチャンネル
(1秒以上押す) を自動的に探します
(SEEK)



- テレビ映像のときは、ユニバーサルパッドでも同様の操作ができます。

放送局を記憶する

1 記憶させたいチャンネルを選ぶ

2 記憶させたいリストのプリセットの枠をピッと鳴るまで選び続ける



現在受信中のチャンネルが、選んだプリセットに記憶されます。

接続したiPodを本機で操作することができます。



- 本機にiPodを接続するには、別売のiPodアダプター「CD-IB10」が必要です。
- 「AVIC-HRV02」にiPodを接続することはできません。

再生する

1 [AV] を押してソースをiPodにする(→P10)

前回再生していたトラックから再生されます。



: トラック操作

: 早戻し/早送り
(選り続ける)

: 一時停止/再生

操作ボタンで選ぶ場合：

: トラックの選択

: 早戻し/早送り
(押し続ける)

聴きたい曲を探す

1 曲を探す を選ぶ



2 カテゴリを選ぶ



3 曲を絞り込む

4 聴きたい曲を選ぶ



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定
(AVIC-RH202)

AV初期設定
(AVIC-HRV02)

その他の機能

付録

いろいろな再生

■リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

REPEAT ONE ← → **REPEAT ALL**



- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（TRACKリピート中の選曲操作など）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

■シャッフル再生

曲順を変えて再生することができます。

1 を選ぶ



選ぶごとに、シャッフルの範囲が以下のように切り替わります。

OFF → **SHUFFLE SONG** →
SHUFFLE ALBUM → **OFF** に戻る



- シャッフル再生中にその他の再生操作（リピート再生、早送り/早戻しなど）を行うと、シャッフル再生が中止される場合があります。

接続したマルチCDプレーヤーを本機で操作することができます。

再生する

マルチCDプレーヤーでCDを再生するには、次のようにします。

1 [AV] を押してソースをM-CDにする(→P10)

ソースプレートとディスクリストが表示され、再生が開始されます。



- マルチCDにマガジンが入っていないときや再生中にマガジンを取り出したときは、「マガジンが入っていません。」と表示されます。
- [AV] を1秒以上押すと、ソースをOFFにすることができます。(→P11)

2 聴きたいディスクまたはトラックを選ぶ



[<<]、[>>] : トラック操作

[<<]、[>>] : 早戻し/早送り
(選り続ける)

[>||] : 一時停止/再生

[1] ~ [12] : ディスクの切替

[前のディスク]

[次のディスク]

操作ボタンで選ぶ場合：

[<] [PLIST] [>] : ディスクの選択

[<] [TRK] [>] : トラックの選択

[<] [TRK] [>] : 早戻し/早送り
(押し続ける)

再生画面について

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」再生中にソースプレートにタイトルやアーティスト名、再生時間が表示されます。

ディスクNo. トラックタイトル
ディスクタイトル



トラックNo.

再生中のトラックの
経過時間

CD TEXTについて

CD TEXTとは

CDのタイトルやアーティスト名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。(下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。)



- タイトルやアーティスト名は、半角、全角の混在はできません。
- 「CD TEXT」が収録されていない場合は、ソースプレートに「No Title」と表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AV1-CH02)

AV初期設定(AV1-CH02)

その他の機能

付録

いろいろな操作

いろいろな再生操作をすることができます。

1 リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピートを選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

MAGAZINE REPEAT → TRACK REPEAT →
DISC REPEAT → MAGAZINE REPEAT に戻る

MAGAZINE REPEAT : マガジン内のすべてのディスクを繰り返します

TRACK REPEAT : 再生中のトラック(曲)を繰り返します

DISC REPEAT : 再生中のディスクを繰り返します

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (TRACK REPEAT中の選曲操作など) を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- 通常再生であるMAGAZINE REPEATは、ソースプレートに表示されません。

1 ランダム再生

選んだリピートの範囲内 (→前項) で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります。

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はDISC REPEATに自動的に切り替わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作 (リピート再生、スキャン再生など) やリピートの範囲を超える操作 (DISC REPEAT中のディスクの切り替えなど) を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

1 スキャン再生

選んだリピートの範囲 (→前々項) で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各ディスクの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。

1 リピートの範囲 (→前々項) を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク内の各曲の演奏開始部分を約10秒間ずつ再生します。リピート範囲をDISC REPEATに指定します。

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、DISC REPEATにリピートの範囲が切り替わります。

聴きたいディスクを探すとき

マガジン内全ディスクの1曲目だけの演奏開始部分を約10秒間ずつ再生します。
リピート範囲をMAGAZINE REPEATに指定します。

2 スキャンを選ぶ

選ぶごとに、スキャン再生のON/OFFが切り替わります。

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはディスクが再生されたら、もう一度スキャンを選ぶ

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはディスクが再生されます。

- スキャン再生中にその他の再生（リピート再生、ランダム再生など）やリピートの範囲を超える操作（DISC REPEAT中のディスクの切り替えなど）を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

A/V初期設定 (AVIC-PR02/HRZ02)

A/V初期設定 (AVIC-PR02)

その他の機能

付録

エクスターナルユニットの操作のしかた

HRZ

本機では、マルチCDプレーヤー以外のIPバス機器は、エクスターナルユニットとして扱われます。



- エクスターナルユニットは、最大2台まで接続することができます。
- 「AVIC-HRVO2」にエクスターナルユニットを接続することはできません。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニット(マルチDVDプレーヤー「XDV-P9 II」など)を接続したときは、「映像入力設定」を**EXT**に設定する必要があります。→「ビデオなどを見る」(P81)

基本操作

1 **AV** を押してソースをEXT 1
またはEXT2にする(→P10)

2 操作画面タッチして操作する
(→操作例)



- 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合は、しばらくすると映像画面に切り替わります。操作画面を再表示させたい場合は画面にタッチするか、**戻る**を押してください。

1~6キーの操作

基本操作画面で**1-6**を選ぶと、1~6キーの操作ができます。



ファンクションキーの操作

基本操作画面で**ファンクション**を選んでAVメニュー画面を表示すると、ファンクションキーの操作が行えます。(→次項)



操作例



- 接続した製品によって、操作内容が異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。

マルチDVDプレーヤー「XDV-P9 II」の場合

- ↑ ↓** : ディスク操作
- ← →** : チャプター/トラック操作^{*1}

バンド : ディスク送り

1-6 : ディスク番号選択

ファンクション1 : 表示切り換え

ファンクション2 : 一時停止、ランダム再生^{*2}

ファンクション3 : スキャン再生

ファンクション4 : リピート範囲の切り替え

オート/マニュアル : モード切り替え

^{*1} マニュアルモードになっているときは、早送り/早戻し動作となります。

^{*2} CD再生時に2秒以上タッチしたときの動作です。

AV初期設定 (AVIC-HRZ09/HRZ08)

AV初期設定のしかた	62
オーディオ設定をする	62
フェーダーバランス設定	62
ラウドネス設定	62
イコライザー設定	63
ハイパスフィルター設定	64
サブウーファー設定	65
ソースレベルアジャスター設定	65
音場設定 (VSC)	66
システム設定をする	67
ワイドモード	67
消音タイミング	67
消音レベル	67
ナビ画面リアモニター出力	68
映像入力設定	68
バックカメラ	68
バックカメラ極性	68
AUX設定	68
映像画面時計表示設定	68
5.1ch DSPユニット設定	68
ガイド/ハンズフリーSP設定	69
オートアンテナ連動	69
録音設定	70

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVIC-HRZ09/HRZ08)

AV初期設定 (AVIC-HRV02)

その他の機能

付録

AV初期設定のしかた

HRZ

お好みに合わせてオーディオの音などを調節(→「オーディオ設定」(P62))したり、本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定(→「システム設定」(P67))をすることができます。



- 別売の5.1ch対応DSPユニット「DEQ-P9」とオーディオマスターユニット「AXM-P9」を組み合わせて音の調節を行う場合は、システム設定の「5.1chDSPユニット」(→P68)をONにしてから、AXM-P9側で調整してください。

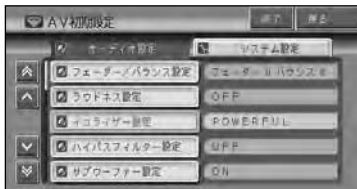
オーディオ設定をする

本機の音に関する設定を行います。

1 AVソース画面で **AV初期設定** を選ぶ

オーディオ設定画面が表示されます。

2 各項目を選び、設定を行う



- AV設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあった場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- システム設定の **5.1chDSPユニット** の設定がONになっている場合は設定できません。
- 走行中は操作できない設定項目があります。

■フェーダー/バランス設定

前後左右の音量バランスを調節することができます。

1 オーディオ設定画面(→前項)で **フェーダー/バランス設定** を選ぶ

2 **▲、▼、<、>** を選んで前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます。



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

■ラウドネス設定

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 オーディオ設定画面(→前々項)で **ラウドネス設定** を選ぶ

2 ON を選ぶ

ラウドネスを働かせない場合は、**OFF** を選びます。

3 < または > で **LOW/MID/HIGH** から設定する

- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

イコライザー設定

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調節した設定（CUSTOM）からイコライザーカーブを選ぶことができます。工場出荷時は「POWERFUL」です。

- 設定した調節値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 オーディオ設定画面（→P62）
で **イコライザー設定** を選ぶ**2 お好みの設定を選ぶ**

選ぶごとにイコライザーカーブが切り替わります。

SUPER BASS、**POWERFUL**、**NATURAL**、**VOCAL**、**FLAT**：

各設定のカーブを微調整します（→次項）

CUSTOM1、**CUSTOM2**：

お好みに合わせて調整した内容をそれぞれに記憶できます



- **FLAT** は、何の補正もしません。
- **CUSTOM1** はソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
 - CD、WMA/MP3
 - AM、FM
 - VTR、AUX
 - EXT1、EXT2
- **CUSTOM2** は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- **CUSTOM2** 以外のカーブを選んでいるときにレベル調節すると、**CUSTOM1** に記憶されます。
- **CUSTOM2** のカーブを選んでいるときに、レベル調節すると、**CUSTOM2** に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときは、調節できません。
- **詳細設定** を選ぶと、CUSTOM用のイコライザーカーブ詳細設定（→次項）に切り替わります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVC-PR02H/2Z)

AV初期設定 (AVC-PR02)

その他の機能

付録

イコライザーカーブを細かく調節する

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数、レベル、Q調整値をバンドごとに調節することができます。ここで調節した設定はCUSTOM1に登録されます。

1 イコライザー設定画面 (→前項) で調節するカーブを選ぶ

2 詳細設定 を選ぶ

3 バンドの < または > を選んで、調整するバンド (音域) を選ぶ



低音域 : 40Hz、80Hz、100Hz、160Hz

中音域 : 200Hz、500Hz、1kHz、2kHz

高音域 : 3.15kHz、8kHz、10kHz、12.5kHz

4 周波数、レベル、Q調整値の < または > を選んで、それぞれを調節する

「周波数」 : 1ステップずつ切り替わります。

「レベル」 : -12dB ~ +12dBの間で調節できます。

「Q調整」 : NARROW2、NARROW1、WIDE1、WIDE2から選択できます。

•ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

ハイパスフィルター設定

選んだ周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。

1 オーディオ設定画面 (→P62) でハイパスフィルター設定 を選ぶ

2 ON または **OFF** を選ぶ



3 < または > を選んで、カットする周波数を設定する



50Hz、80Hz、125Hzから周波数を選べます。

■ サブウーファー設定

サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。
工場出荷時は「ON」です。

1 オーディオ設定画面（→P62）でサブウーファー設定を選ぶ**2 「サブウーファー出力」のONまたはOFFを選んで、サブウーファー出力を設定する****3 「位相」のノーマルまたはリバースを選んで、位相を設定する**

ノーマル： フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力するとき

リバース： フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力するとき

●サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件によりこれらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り替えです。サブウーファーを固定した後に、**ノーマル**または**リバース**どちらかを選んで、低音の音量が大きく感じられる方に設定してください。

4 <または>を選んで、カットオフ周波数を設定する

50 Hz → 80 Hz → 125 Hzより設定できます。

5 +または-を選んでレベルを設定する

●カットオフ周波数やレベルは、フロント/リアスピーカーとのバランスやお好みに応じて設定してください。
●ユニバーサルパッドで操作することもできます。

■ ソースレベルアジャスター設定

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の差をそろえることができます。
工場出荷時は「0dB」です。

●FMの音量を基準に他のソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
●ソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
・CD、WMA/MP3
・AM、交通情報
・VTR、AUX
・EXT1、EXT2

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AV1-PR02H/2D)

AV初期設定(AV1-PR02)

その他の機能

付録

1 オーディオ設定画面(→P62)でソースレベルアジャスター設定を選ぶ

2 + または - を選ぶ



- -8dB～+8dBの範囲で2dBごとに調節できます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

■音場設定 (VSC)

お好みの音場をリアルに再現することができます。

1 オーディオ設定画面(→P62)で音場設定(VSC)を選ぶ

2 音場を選ぶ



OFF、MUSIC STUDIO、DYNAMIC THEATER、ACTOR'S STAGE、RELAX LIVINGから設定できます。

- 中音域を強調するRELAX LIVINGは、最大音量付近では効果を得られません。
- 音場設定を行うとハイパスフィルター設定(→P64)はOFFになります。

ポジションを設定する

音場の再現の中心となるポジションを設定することができます。

- 音場設定をOFFに設定すると、リスニングポジションの効果も無効になります。

1 ポジションを選ぶ



2 ポジションを選ぶ



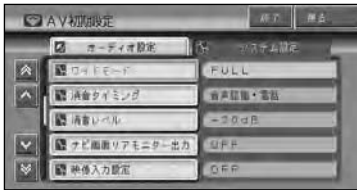
LEFT、CENTER、RIGHTから設定できます。

システム設定をする

本機の動作環境の設定を行います。

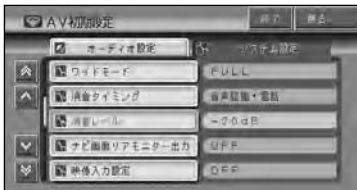
1 AVソース画面で **AV初期設定** を選ぶ

2 **システム設定** (タブ)を選ぶ



システム設定画面が表示されます。

3 各項目を選び、設定を行う



■ **ワイドモード**

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

→詳しくは、「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(→P77)に記載しています。
工場出荷時は「FULL」です。

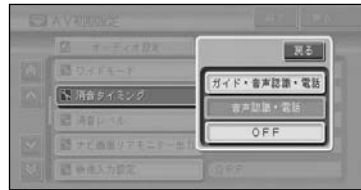
■ **消音タイミング**

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

工場出荷時は「音声認識・電話」です。

1 システム設定画面 (→本頁) で **消音タイミング** を選ぶ

2 消音タイミングを設定する



ガイド・音声認識・電話 :

音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます

音声認識・電話 :

ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます

OFF :

オーディオの音量を下げません

■ **消音レベル**

消音タイミングの音量を下げるレベルを設定します。

工場出荷時は「-20dB」です。

1 システム設定画面 (→本頁) で **消音レベル** を選ぶ

2 消音レベルを設定する



-10dB : 音量が1/3になります

-20dB : 音量が1/10になります

MUTE : 音量が0になります

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVC-PR02H/2Z)

AV初期設定 (AVC-PR02)

その他の機能

付録

■ナビ画面リアモニター出力

リアモニターと組み合わせた場合にソースがOFFまたは音声系ソース（CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど）のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示するかしないかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 システム設定画面（→P67）でナビ画面リアモニター出力を選ぶ

2 ONまたはOFFを選ぶ



リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

■映像入力設定

VTR（ビデオなど）やマルチDVDプレーヤーなどを本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

→詳しくは、「ビデオなどの入力を設定する」（→P81）に記載しています。

■バックカメラ

バックカメラと組み合わせた場合にバックカメラの映像を表示するかしないかを設定します。

→詳しくは、「バックカメラを使う」（→P82）に記載しています。

■バックカメラ極性

バックカメラを組み合わせた場合に車両のバック信号に合わせた極性を設定します。

→詳しくは、「バックカメラを使う」（→P82）に記載しています。

■AUX設定

本機にポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

詳しくは、「外部機器の音声を聞く」（→P80）に記載しています。

■映像画面時計表示設定

テレビやDVDなどの映像画面に時計を表示するかしないかを設定します。

1 システム設定画面（→P67）で映像画面時計表示設定を選ぶ

2 ONまたはOFFを選ぶ



OFFを選ぶと、映像画面に時計を表示しません。

■5.1ch DSPユニット設定

別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」および「AXM-P9」を組み合わせた場合「ON」に設定します。



- 光デジタル端子変換コネクタ「CD-DD25」が接続されていないと、設定ができません。
- ソースがOFFになっていないと、設定ができません。
- 5.1ch DSPユニットの設定を「ON」にすると、本機のスピーカーから音声は出力されません。

1 システム設定画面 (→P67) で **5.1ch DSPユニット設定** を選ぶ

2 ON を選ぶ



確認メッセージが表示されます。

3 はい にタッチする

リモコン操作：(決定) を押す。

5.1chのDSPユニットが設定され、操作およびスピーカー出力が「DEQ-P9」「AXM-P9」側で行えるようになります。

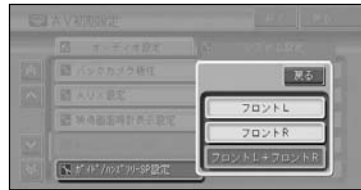
ガイド/ハンズフリーSP設定

内蔵のDSPを使用している場合、ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音、音声操作音などを、どのスピーカーから出力するかを設定します。工場出荷時は「フロントL+フロントR」です。

- **ガイド/ハンズフリーSP設定** は、別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせている場合は表示されません。

1 システム設定画面 (→P67) で **ガイド/ハンズフリーSP設定** を選ぶ

2 スピーカーを選ぶ



フロントL : フロント左側から出力します

フロントR : フロント右側から出力します

フロントL+ : フロント左右から出力します
フロントR

オートアンテナ連動

オートアンテナのON/OFF動作を、エンジンスイッチ(本機の電源)と連動させるか、ラジオ(FM/AM)と連動させるかを設定します。工場出荷時は「FM/AM連動」です。

1 システム設定画面 (→P67) で **オートアンテナ連動** を選ぶ

2 FM/AM連動 または **電源連動** を選ぶ



FM/AM連動 : ラジオソース(FM/AM)選択に連動してONにします

電源連動 : エンジンスイッチ(本機の電源)ONと連動してONにします

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AV1-PR02)(H27)

AV初期設定(AV1-PR02)

その他の機能

付録

■録音設定

ミュージックサーバーへの録音方法を設定します。

→詳しくは、「ミュージックサーバーに録音する」(→P38)に記載しています。

AV初期設定 (AVIC-HRV02)

AV初期設定のしかた	72
ワイドモード	72
消音タイミング	72
ナビ画面リアモニター出力	72
VTR設定	72
バックカメラ	73
バックカメラ極性	73
映像画面時計表示設定	73
モニタースピーカーAV音声出力	73
録音設定	73
FMトランスミッター設定	73

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミ
ュ
ー
ジ
ック
サ
ー
バ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
機
器

AV初期設定
(AVIC-FD08/HD08)

AV初期設定
(AVIC-HRV02)

その他の機能

付
録

AV初期設定のしかた

HRV

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。

1 AVソース画面で AV初期設定 を選ぶ

2 各項目を選び、設定を行う



■ ワイドモード

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

→詳しくは、「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(→P77)に記載しています。

工場出荷時は「FULL」です。

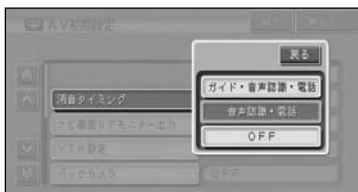
■ 消音タイミング

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

工場出荷時は「音声認識・電話」です。

1 AV初期設定画面 (→本頁)で 消音タイミング を選ぶ

2 消音タイミングを設定する



ガイド・音声認識・電話 :

音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます

音声認識・電話 :

ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます

OFF :

オーディオの音量を下げません

■ ナビ画面リアモニター出力

リアモニターと組み合わせた場合にソースがOFFまたは音声系ソース(CD、WMA/MP3、ミュージックサーバーなど)のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示するかしないかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

1 AV初期設定画面 (→本頁)で ナビ画面リアモニター出力 を選ぶ

2 ON または OFF を選ぶ



•リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

■ VTR設定

VTR(ビデオなど)を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

→詳しくは、「ビデオなどの入力を設定する」(P81)に記載しています。

1 バックカメラ

バックカメラと組み合わせた場合にバックカメラの映像を表示するかしないかを設定します。

→詳しくは、「バックカメラを使う」(→P82)に記載しています。

1 バックカメラ極性

バックカメラを組み合わせた場合に車両のバック信号に合わせた極性を設定します。

→詳しくは、「バックカメラを使う」(→P82)に記載しています。

1 映像画面時計表示設定

テレビやDVDなどの映像画面に時計を表示するかしないかを設定します。

1 AV初期設定画面 (→P72) で映像画面時計表示設定を選ぶ**2 ONまたはOFFを選ぶ**

OFF を選ぶと、映像画面に時計を表示しません。

1 モニタースピーカーAV音声出力

モニターの内蔵スピーカーから、ナビゲーションの音声案内と各ソースの音声を出すか、ナビゲーションの音声案内のみ出力するかの設定をします。

工場出荷時は「ON」です。

1 AV初期設定画面 (→P72) でモニタースピーカーAV音声出力を選ぶ**2 ONまたはOFFを選ぶ**

ON : ナビゲーションの音声案内と各ソースの音声を出力します

OFF : ナビゲーションの音声案内のみを出力します

1 録音設定

ミュージックサーバーへの録音方法を設定します。

→詳しくは、「ミュージックサーバーに録音する」(→P38)に記載しています。

1 FMトランスミッター設定

テレビ、DVD、CD・WMA/MP3、ミュージックサーバーなどの音声をFM電波で送信し、FM付きカーステレオで受信することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 AV初期設定画面 (→P72) でFMトランスミッター設定を選ぶ**2 各項目を設定する**

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-PR02H203)

AV初期設定(AVIC-PR02)

その他の機能

付録

「トランスミッター」:

ON : FMトランスミッターをONに
します。

OFF : FMトランスミッターをOFF
にします。

「周波数」:

76.4MHz~78.4MHzの間で0.1MHzご
とに設定できます。

< : 低くするとき

> : 高くするとき

「レベル」:

-6~+6の間で1ステップごとに設定で
きます。

- : 下げるとき

+ : 上げるとき



•ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操
作して設定することもできます。

3 カーステレオをFMに切り替え、 手順 2 で選んだ周波数を受信 する

本機の音声をカーステレオのスピーカ
ーで聞けるようになります。



- トランスミッターを使ってナビゲー
ションの音声案内を聞くことはできま
せん。
- 送信用アンテナの配置場所や受信する
側のラジオのアンテナによっては、ノ
イズが聞こえたり、受信状態が悪くな
ることがあります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数
を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離
は、約2mです。(法律により電波の強
さが規制されています。)
- FMトランスミッターを使わないとき
は、必ずOFFにしてください。

その他の機能

画面を設定する	76
画質を調節する	76
明るさマークについて	77
ワイド画面の拡大方法を切り替える	77
ワイドモードの種類	78
タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション)	78
外部機器の音声を聞く	80
ビデオなどを見る	81
ビデオなどの入力を設定する	81
AVIC-HRZ09/HRZ08の場合	81
AVIC-HRV02の場合	81
ビデオなどの見かた	81
バックカメラを使う	82
入力設定をバックカメラに切り替える	82
バックカメラの切り替えかた	82

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミュージック
サーバー

オプション
機器

AV初期設定
(AVIC-FD08/HRZ09)

AV初期設定
(AVIC-HRV02)

その他の機能

付
録

画面を設定する

画質を調節する

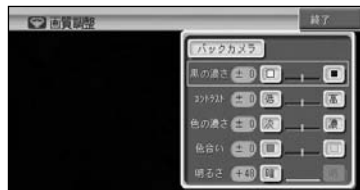
周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「明るさ」を調節することができます。



- AVIC-HRZ09/HRZ08では車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り替えます。
 - AVIC-HRVO2では外光センサーで周囲の明るさを検知して昼と夜の設定を自動的に切り替えます。
 - 「黒の濃さ」および「コントラスト」の設定は、昼と夜で別々に設定記憶できます。
 - AVIC-HRVO2では「明るさ」の設定は、昼と夕方と夜で別々に設定記憶できません。設定後は、中間の明るさのときでも明るさを段階的に自動調節します(3点式インテリジェントディマー)。
 - 設定内容は、次の画面および映像ごとに別々に設定記憶できます。
 - CD/MP3/WMA画面/AM/FM/TI/MD画面*1/M-CD/iPod/AUX画面*2
 - MSV画面
 - DVD-V映像
 - TV映像
 - VTR/EXT*2/地上デジタルTV映像*2
 - バックカメラ映像
 - ナビ画面
- ※1 AVIC-HRZ09のみ。
※2 AVIC-HRZ09/HRZ08のみ。
- 走行中は操作できません。

1 調節したい映像の表示画面で、を押す

2 左右のタッチキーにタッチするか、ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節する



バックカメラ：バックカメラの画質調整を行います。

黒の濃さ

(白)：薄くなる

(黒)：濃くなる

コントラスト (明暗)

低：白黒の差が小さくなる

高：白黒の差が大きくなる

色の濃さ

淡：薄くなる

濃：濃くなる

色合い

(赤)：赤が強くなる

(緑)：緑が強くなる

明るさ


暗：暗くなる

明：明るくなる



- 「色の濃さ」と「色合い」は、DVD映像、テレビ映像、VTR映像(またはEXT、地上デジタルTV)、バックカメラ映像のときのみ調節できます。

3 終了 にタッチする

リモコン操作：を押す。

■明るさマークについて **HRV**

「AVIC-HRV02」では、明るさなどを調節するときに基準となる外光レベルをマークで表します。



黒の濃さとコントラスト

☀️ (黄)：明るいとき(昼間)

🌿 (緑)：暗いとき(夜間)

明るさ

☀️ (黄)：明るいとき(昼間)

🔴 (赤)：中間の明るさのとき(夕方)

🌿 (緑)：暗いとき(夜間)

(☀️)：外光レベル

▬ (☞)：明るさレベル

外光レベルは、現在の外光レベルを段階的に表します。

明るさレベルは外光に合わせて自動調節している現在の画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります

ワイド画面の拡大方法を切り替える

DVDやテレビおよびVTR(ビデオなど)の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。



- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- DVD、テレビ、VTR、EXT、地上デジタルTVで設定内容が別々に記憶されます。
- ナビゲーションや音声系ソース(CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど)、バックカメラは、ワイドモードの切り替えはできません。

1 ソースを切り替える(→P10)

2 システム設定画面(→P67)またはAV初期設定画面(→P72)で **ワイドモード** を選ぶ

3 お好みの表示方法を選ぶ



→それぞれの表示の説明は、「ワイドモードの種類」(P78)を参照してください。

- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると(フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

4 終了にタッチする

リモコン操作： を押す。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-HRV02)

AV初期設定(AVIC-HRV02)

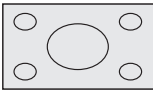
その他の機能

付録

■ ワイドモードの種類

FULL (フル)

4 : 3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



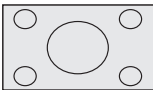
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



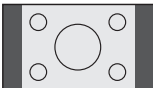
ZOOM (ズーム)

4 : 3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4 : 3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション)

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなど、以下の方法で調整することができます。調整には画面四隅で行う4点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。

ご注意

- 必ず付属のタッチパネル用調整ペンを使用し、画面に軽く触れてください。タッチパネルを強く押すとタッチパネルが破損することがあります。また、ボールペンやシャープペンなどの先の尖った物は使用しないでください。

1 [V] を押す

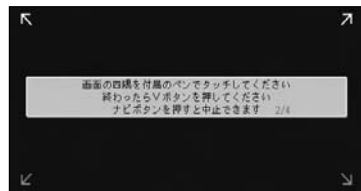
画質調整画面が表示されます。

2 [V] を2秒以上押す

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面四隅にタッチする

4つの矢印がそれぞれ赤くなるまで画面の隅にタッチしてください。



4 [V] を押す

調整結果が保存されます。

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 4点調整で終了する場合は、[ナビ] を押し、現在地画面に戻ります。

5 もう一度 **V** を押す

16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする

全てタッチすると調整結果が保存されます。



- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 一つ前の調整位置に戻るには、**V** を押してください。
- 調整を取り止めるには、**[ナビ]** を押してください。

7 **[ナビ]** を押す

調整を終了し、現在地画面に戻ります。



- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、販売店またはカスタマーサポートにご相談ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV設定

システム設定

その他の機能

付録

本機にポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

本機にRCA出力の外部機器を接続するには、別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」が必要です。

1 システム設定画面（→P67） で **AUX設定** を選ぶ

2 **ON** または **OFF** を選ぶ



外部機器がAUXソースとして設定され、ソースをAUXに切り替えると、外部機器の音声を聞くことができます。

3 **AV** を押してソースをAUXにする（→P10）

外部機器の音声が出力されます。

ビデオなどを見る

本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

ビデオなどの入力を設定する

■ AVIC-HRZ09/HRZ08の場合

1 システム設定画面（→P67）で**映像入力設定**を選ぶ

2 機器を接続した端子に応じて、以下のように設定する



VTR : 接続されたビデオなどの映像を表示するとき

EXT : 接続したエクスターナルユニットの映像を表示するとき

OFF : 何も接続されていないとき

3 **戻る** にタッチする

リモコン操作：(戻る) を押す。

■ AVIC-HRV02の場合

1 AV初期設定設定画面（→P72）で**VTR設定**を選ぶ

2 **ON** を選ぶ



ON : 接続されたビデオなどの映像を表示するとき

OFF : 何も接続されていないとき

3 **戻る** にタッチする

リモコン操作：(戻る) を押す。

ビデオなどの見かた

ソースをVTRに切り替えてビデオなどの映像を見ます。

ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、モニターでビデオなどの映像を見られます。走行中は安全のためにモニターには、ビデオなどの映像は表示されません。

1 **AV** を押してソースをVTRにする(→P10)

▼
ビデオなどの画面が表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-HRZ08/HRZ09)

AV初期設定(AVIC-HRV02)

その他の機能

付録

バックカメラを使う

本機にバックカメラユニット「ND-BC1」(別売)を接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

入力設定をバックカメラに切り替える

1 システム設定画面(→P67)またはAV初期設定画面(→P72)で**バックカメラ**を選ぶ

2 **ON**を選ぶ



3 **戻る** にタッチする

リモコン操作：(戻る)を押す。

4 システム設定画面(→P67)またはAV初期設定画面(→P72)で**バックカメラ極性**を選ぶ

5 **LOW** または **HIGH** を選んで、車両のバック信号の極性に合わせる



LOW : グラウンド(バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧がLOWとなる車両の場合に選択します)

HIGH : バッテリー(バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧がHIGHとなる車両の場合に選択します)

•必ずバック信号入力線(紫/白)を接続してください。バック信号の極性については、ナビゲーションの「サブメニュー」→「ハードウェア情報」で確認できます。→『ナビゲーションブック』

6 **戻る** にタッチする

リモコン操作：(戻る)を押す。

バックカメラの切り替えかた

シフトレバーをR(リバース)の位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

1 **バックギア**を入れる



シフトレバーを他のギアに切り替ええると、画面表示は元の映像に切り替わります。

•バックカメラ表示中に**[ナビ]**を押すと、バックカメラ映像を解除します。
•バックカメラを正常に動作させるためには、バック信号入力線の接続が必要です。→『取付説明書』
•本機にはバックカメラの映像を左右反転する機能はありません。
•バックカメラの使いかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。

再生できるディスクの種類	84	故障かな?と思ったら	90
DVDに表示されているマークの意味	85	共通項目	90
ディスクの操作について	85	テレビ	92
ディスクの構成について	86	ラジオ (AVIC-HRZ09/HRZ08)	92
DVDビデオ	86	MD (AVIC-HRZ09)	93
CD	86	DVD	93
MP3ディスク、		CD、WMA/MP3ディスク	94
WMAディスクについて	87	WMA/MP3ディスク	95
フォルダーとMP3および		ミュージックサーバー	96
WMAファイルについて	87	エラーメッセージと対処方法	97
MP3とは?	88	共通項目	97
再生できるMP3ディスクについて	88	DVD、CD、WMA/MP3ディスク	97
WMAとは?	88	MD (AVIC-HRZ09)	98
再生できるWMAディスクについて	88	ミュージックサーバー	99
Gracenoteについて	89	索引	100
		メニュー索引	100
		AVIC-HRZ09/HRZ08	100
		AVIC-HRV02	101
		用語索引	102
		五十音順	102
		アルファベット順	103

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVIC-HRZ09/HRZ08)





AV初期設定 (AVIC-HRV02)

その他の機能

付録

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVDビデオ 	DVDビデオ 12cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 133分
	2層	242分
	12cm/両面 1層	266分
	2層	484分
DVDビデオ 	DVDビデオ 8cm/片面 1層	(MPEG 2方式) 41分
	2層	75分
	8cm/両面 1層	82分
	2層	150分
CD  	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分

本機で再生できるのは、上記に記載されているマークの付いたディスクのみです。








- DVDオーディオやDVD-ROMなどは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されファイナライズされたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-PH020)

AV初期設定(AVIC-PH002)

その他の機能

付録

ディスクの構成について

DVDビデオ

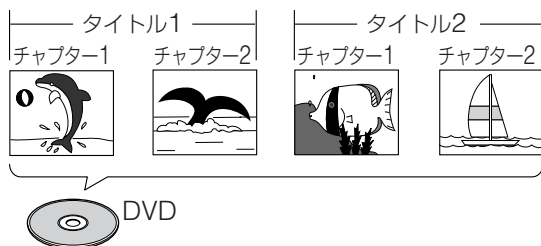
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

■映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

■カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。

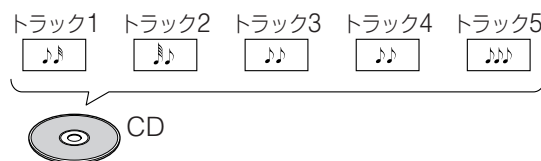


•上記のような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

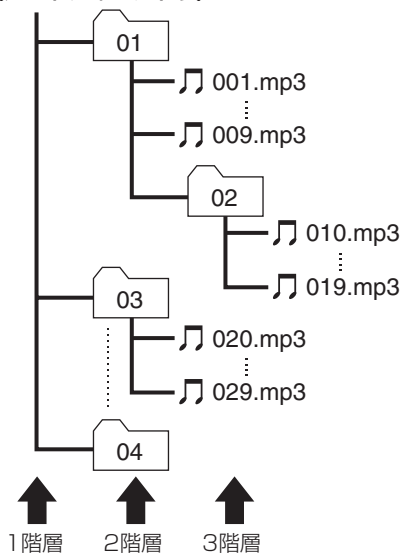


MP3ディスク、WMAディスクについて

フォルダーとMP3およびWMAファイルについて

- MP3およびWMAファイルを取録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。

(ルートディレクトリ)



- 本機はMP3およびWMAファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROM (CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。

- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma) を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。



- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにMP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、MP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えることができます。MP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- MP3およびWMAファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- 8階層までのMP3およびWMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVC-RH202)

AV初期設定 (AVC-RH02)

その他の機能

付録

MP3とは？

「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■再生できるMP3ディスクについて



- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
例：01abcdef.mp3
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けしないでください。

- ID3 TagのVer1.0およびVer1.1、Ver2.2、Ver2.3のalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)、genre(ジャンルとして表示)、year(発売年として表示)の表示に対応しています。
- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応しています。なお、再生可能なサンプリング周波数は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32kHz、44.1kHz、48kHz。MPEG-2 LAYER-3の場合、16kHz、22.05kHz、24kHzです。
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbps、MPEG-2 LAYER-3の場合、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、一定の音質で音楽を楽しむためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

WMAとは？

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。



- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

■再生できるWMAディスクについて



- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けしないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7、Ver.8を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は48、64、80、96、128、160、192kbpsのWMAファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

概要

音楽認識技術及び関連データ情報は、グレースノート及びグレースノートCDDDB音楽認識サービスにより提供されます。グレースノートは音楽認識技術及び関連データ情報配信における業界標準となっています。詳細については、

www.gracenote.comをご覧ください。

特許及び商標

「グレースノート社からのCD及び音楽関連データ情報」に関する著作権(2000-2003)は、グレースノート社に帰属します。「グレースノートCDDDBクライアントソフトウェア」に関する著作権(2000-2003)は、グレースノート社に帰属します。これらの製品及びサービスは、米国特許番号#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593並びにその他の特許取得済みまたは申請中の技術の中の1つまたは複数の技術により提供されます。「Gracenote」及び「CDDB」は米国グレースノート社の登録商標です。「Gracenote」のロゴ及びロゴタイプ、「CDDB」のロゴ及びロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」のロゴは、米国グレースノート社の商標です。

- 本機内蔵のGracenote CDDDBのデータベース、インターネットのGracenote CDDBのデータベースとともに、データの内容を100%保証するものではありません。
- Gracenote CDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- CDDBの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なく、その提供を中止することがあります。

エンドユーザー使用許諾書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote ("Gracenote") からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術 ("Gracenote Embedded Software") により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報 ("Gracenote Data") を得ることも可能です。この技術はGracenote Database ("Gracenote Database") に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。

- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のまま使用許可を与えます。Gracenoteは、すべてのGracenote Dataの正確性に関する、明示または黙示、真実の表明または保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVI-CH02H20)

AV初期設定 (AVI-CH02)

その他の機能

付録

故障かな？と思ったら

故障かなと 思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直 らないときは

本機をリセットしてください。
→『スタートブック』、
「リセットについて」

それでも直らな いときは

『スタートブック』、「お客様登録とアフターサービス」をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。 本機に5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。
	システム設定の「5.1ch DSPユニット設定」の設定が間違っている。(AVIC-HRZ09/HRZ08)。	「5.1ch DSPユニット設定」を正しく設定してください。→「5.1ch DSPユニット設定」(P68)
	接続が間違っている。	接続を確認してください。→『取付説明書』
映像が出ない。	ガイドスピーカー接続端子を接続していない (AVIC-HRZ09/HRZ08)。	ガイドスピーカー接続端子を接続してください。
	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
	スタンバイ状態になっている。	スタンバイを解除してください。 →『スタートブック』

共通項目 (つづき)

症状	原因	処置
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	[ナビ] で画面を切り替えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない (AVIC-HRZ09/HRZ08)。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。 →「フェーダー/バランス」(P62)
左または右のスピーカーから音が出ない (AVIC-HRZ09/HRZ08)。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
バックカメラに切り替わらない。	バック信号が接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
	バックカメラの設定が適切でない。	適切に設定してください。→「バックカメラを使う」(P82)
画質調節ができない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器


AV初期設定 (AVIC-HRZ09/HRZ08)

AV初期設定 (AVIC-HRZ02)

その他の機能

付録

テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	アンテナ電源の接続をし忘れて いる。	アンテナ電源を接続してください。 →『取付説明書』
	アンテナケーブル線と他の ケーブルを束ねたり、重ねた りしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだ け離してください。→『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P14)
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。 音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっ ている。	 で画面を切り替えてください。

ラジオ (AVIC-HRZ09/HRZ08)

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジー ジー、ザーザー”とい う雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」(P14)
	周りに障害物があるなど、受 信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくな ります。
	アンテナケーブル線と他の ケーブルを束ねたり、重ねた りしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだ け離してください。→『取付説明書』
	オートアンテナがOFFになっ ている。	オートアンテナをONIにしてください。 →『スタートブック』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」(P14)

MD (AVIC-HRZ09)

症状	原因	処置
MD再生中に、大きな雑音が出る。	MDにくもりや水滴がついている。	MDのくもりや水滴を拭き取ってください。→『スタートブック』
MDの再生が途中で止まる。	MDが汚れている。	MDを交換してください。
MDが自動的に出てくる。	録音されていないMDを挿入した。	
	MDが正しい向きで挿入されていない。	MDを取り出して正しい向きに挿入してください。

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	[AV] で画面を切り替えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイ (→P35) をONに設定してください。
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。 →「オートプレイ」(P35)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。 →「視聴制限」(P35)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVIC-HRZ09)

AV初期設定 (AVIC-PRV02)

その他の機能

付録

DVD (つづき)

症状	原因	処置
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
⊘ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■ にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、WMA/MP3ディスク

症状	原因	処置
CD再生中に、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。症状が改善されれば、CDの不良です。
	CDが汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	CDのくもり、またはCDに水滴が付いている。	CDのくもりや水滴を拭き取ってください。

WMA/MP3ディスク

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3ファイル を再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3ファイルにしてください。
WMA/MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 WMA/MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聞きたいWMA/MP3ファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-PR020)

AV初期設定(AVIC-PR02)

その他の機能

付録

ミュージックサーバー

症状	原因	処置
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 →「CD録音の制限について」(P38)
プレイリストのタイトルが「NO TITLE」と表示されている。	タイトルが複数候補あった。	タイトルの取得を行ってください。
プレイリストのタイトルが「NO TITLE」と表示されている。	タイトルがHDDに収録されていない。	携帯電話を接続して、通信でタイトルを取得してください。
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続を確認してください。
	通信接続設定が正しくされていない。	通信接続設定を行ってください。→『ナビゲーションブック』
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手動でタイトル情報を取得してください。→「タイトル情報を取得する」(P51)

エラーメッセージと対処方法

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

共通項目

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。→『取付説明書』

DVD、CD、WMA/MP3ディスク

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
再生できません。 ディスクを取り出して ください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
ディスクが入っていません。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスクの種類」(P84)
	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

D
V
D

ミ
ニ
サ
ー
ビ
ッ
ク

オ
フ
シ
ョ
ン
機
器

A
V
初
期
設
定
(AVC-PH02H20)

A
V
初
期
設
定
(AVC-PH02)

そ
の
他
の
機
能

付
録

DVD、CD、WMA/MP3ディスク (つづき)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスクの種類」(P84)
高温、または低温のため、再生できません。ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

MD(AVIC-HRZ09)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[高温、または低温のためMDが再生できません。ディスクを取り出してください。]	本機の内部温度が高い、または低い。	MDを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
[ERROR 11,12,17,30]	MDが汚れている。 MDにキズやひびがある。	他のMDと交換してください。
[ERROR 20,21]	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかった。 MDに異常（損傷している、TOC*が入っていないなど）がある。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
[ERROR 22,24]	音楽以外の情報が記録されたMDを使用した。	音楽が録音されたMDを使用してください。
[ERROR 23]	本機の電気系、機械系の故障が考えられる。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生をしてください。
[ERROR 01,11,12,17,30,A0]	本機の電気系、機械系の故障が考えられる。	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押して、もう一度MD再生をしてください。→『スタートブック』

*TOC (Table Of Contents) とは、CD、MD、DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

MD(AVIC-HRZ09) (つづき)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[ERROR]	MDが何らかの原因で再生しない。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
[Blank DISC]	何も録音されていないMDを挿入した。	他のMDと交換してください。

ミュージックサーバー

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 →「グループからプレイリストを消去する」(P49)、「プレイリストからトラックを消去する」(P49)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定(AVIC-HRZ09)

AV初期設定(AVIC-HRZ02)

その他の機能

付録

索引

メニュー索引

CD/ROM	メディア	▶ P24	MSV	曲を探す	▶ P41	<ul style="list-style-type: none"> ▶ タイトル ▶ P48 ▶ よみ ▶ P48 ▶ アーティスト ▶ P48 ▶ 登録数 ▶ P47 ▶ 再生順変更 ▶ P47 ▶ プレイリスト消去 ▶ P49 ▶ トラック消去 ▶ P49 ▶ タイトル取得 ▶ P51 ▶ お好みへ追加 ▶ P45
	上へ	▶ P21		上へ	▶ P42	
	●録音	▶ P20		▶II (ポーズ)	▶ P41	
	▶II (ポーズ)	▶ P20		◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P41	
	◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P20		◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P41	
	◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P20		詳細	▶ P43	
	■ (停止)	▶ P20		MY MIX	▶ P45	
	詳細	▶ P22		リピート	▶ P43	
	リピート	▶ P22		ランダム	▶ P44	
	ランダム	▶ P23		スキャン	▶ P44	
スキャン	▶ P23	AV初期設定	▶ P62,72			
AV初期設定	▶ P62,72	メニュー消	▶ P12			
メニュー消	▶ P12					
FM/AM	エリアプリセット/ユーザープリセット	▶ P16	DVD	ブックマーク	▶ P29	<ul style="list-style-type: none"> ▶ リピート ▶ P31 ▶ 字幕切替 ▶ P30 ▶ アングル ▶ P31 ▶ 音声切替 ▶ P30 ▶ L/R切替 ▶ P32 ▶ 10キーサーチ ▶ P30 ▶ リターン ▶ P31 ▶ 前ページ ▶ P26 ▶ AV初期設定 ▶ P62,72
	◀周波数/周波数▶	▶ P15		トップメニュー	▶ P27	
	バンド	▶ P16		メニュー	▶ P27	
	BSM	▶ P16		◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P27	
	AV初期設定	▶ P62		◀◀/▶▶ (チャプターを進める/戻す)	▶ P27	
	メニュー消	▶ P12		▶II (ポーズ)	▶ P27	
TV	エリアプリセット/ユーザープリセット	▶ P16	II▶ (コマ送り再生)	▶ P28		
	音声多重切替	▶ P15	II▶ (スロー再生)	▶ P28		
	◀チャンネル/チャンネル▶	▶ P14	■ (停止)	▶ P28		
	リスト小/リスト大	▶ P15	◀◀ (十字矢印キー)	▶ P27		
	バンド	▶ P16	次ページ	▶ P26		
	BSSM	▶ P16	CM/バック	▶ P29		
	AV初期設定	▶ P62,72	CMスキップ	▶ P29		
	メニュー消	▶ P12	メニュー消	▶ P12		
MD	▶II (ポーズ)	▶ P20	地上デジタルTV	◀チャンネル/チャンネル▶	▶ P54	
	◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P20		サービス切換	▶ P54	
	◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P20		バンド	▶ P54	
	リピート	▶ P22		スキャン	▶ P54	
	ランダム	▶ P23		AV初期設定	▶ P62	
	スキャン	▶ P23		メニュー消	▶ P12	
	AV初期設定	▶ P62		iPod	曲を探す	▶ P55
メニュー消	▶ P12	▶II (ポーズ)	▶ P55			
マルチCD	▶II (ポーズ)	▶ P57	HRZ		◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P55
	◀◀/▶▶ (早送り/早戻し)	▶ P57			◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P55
	◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P57			◀◀/▶▶ (曲を選ぶ)	▶ P55
	前のディスク	▶ P57		◀ (リピート)	▶ P56	
	次のディスク	▶ P57		♻ (シャッフル)	▶ P56	
	リピート	▶ P58		AV初期設定	▶ P62	
	ランダム	▶ P58		メニュー消	▶ P12	
	スキャン	▶ P58		交通情報	1620kHz/1629kHz	▶ P18
	AV初期設定	▶ P62			交通情報 OFF	▶ P18
	メニュー消	▶ P12			メニュー消	▶ P12

AV初期設定	オーディオ設定	フェーダー/バランス設定	▶ P62	基本字幕言語 ▶ P33 基本音声言語 ▶ P33 メニュー言語 ▶ P34 アシスト字幕 ▶ P34 マルチアングル ▶ P34 テレビアスペクト ▶ P34 視聴制限 ▶ P35 オートプレイ ▶ P35
		システム設定	ラウドネス設定	
HRZ	オーディオ設定	イコライザー設定	▶ P63	
		ハイパスフィルター設定	▶ P64	
サブウーファー設定		▶ P65		
ソースレベルアジャスター設定		▶ P65		
音場設定 (VSC)		▶ P66		
ワイドモード		▶ P67		
消音タイミング		▶ P67		
消音レベル		▶ P67		
ナビ画面リアモニター出力		▶ P68		
映像入力設定		▶ P68		
バックカメラ		▶ P68		
バックカメラ極性		▶ P68		
AUX設定		▶ P68		
映像画面時計表示設定		▶ P68		
5.1ch DSPユニット設定		▶ P68		
ガイド/ハンズフリーSP設定		▶ P69		
オートアンテナ運動		▶ P69		
録音設定		▶ P70		
DVDビデオ機能設定		▶ P33		
AV初期設定		HRV	ワイドモード	▶ P72
	消音タイミング		▶ P72	
HRV	AV初期設定	ナビ画面リアモニター出力	▶ P72	
		VTR設定	▶ P72	
		バックカメラ	▶ P73	
		バックカメラ極性	▶ P73	
		映像画面時計表示設定	▶ P73	
		モニタースピーカーAV音声出力	▶ P73	
		録音設定	▶ P73	
		FMトランスミッター設定	▶ P73	
		DVDビデオ機能設定	▶ P33	
		基本字幕言語	▶ P33	
		基本音声言語	▶ P33	
		メニュー言語	▶ P34	
		アシスト字幕	▶ P34	
		マルチアングル	▶ P34	
テレビアスペクト	▶ P34			
視聴制限	▶ P35			
オートプレイ	▶ P35			

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AV1C-PR2/HRZ2)

AV初期設定 (AV1C-PRV02)

その他の機能

付録

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	76
アシスト字幕	34
アーティストグループ	41
アルバムグループ	41
アングル	31
アングル選択マーク	31
暗証番号	35
イコライザー	63
色あい	76
色の濃さ	76
エリアプリセット	16
エンファシス	88
お好みグループ	41
オーディオ設定画面	62
オート	40
オートアンテナ	69
オートプレイ	35
音場設定	66
音声言語	30、33
音声多重放送	15

か行

ガイド/ハンズフリーSP設定	69
画質	76
画像	34
グループリスト	42
黒の濃さ	76
交通情報	18
コマ送り	28
コントラスト	76

さ行

再生順変更	47
サブウーファー	65
サブメニュー	50、52
システム設定画面	67
視聴制限レベル	35
シネマ	78
字幕言語	30、33
ジャスト	78
ジャンルグループ	41

主音声	15
消音タイミング	67、72
消音レベル	67
詳細情報	22、47
情報取得	51
シングル	40
スキャン再生	23、44、58
スロー再生	28
ズーム	78
静止画	28
操作タッチキー	26
ソース	11
ソースメニュー	10、11
ソースレベルアジャスター	65

た行

タイトル	27、38
タイトル情報	51
ダイレクトサーチ	30
タッチ操作	10
チャプター	27
ディスクメニュー	27
テレビ	14
テレビアスペクト	34
トラック追加	45
トラックリスト	41

な行

ナビ画面リアモニター出力	68、72
ノーマル	78

は行

ハイパスフィルター設定	64
バックカメラ	68、73、82
早送り	20、27、41、55、57
早戻し	20、27、41、55、57
パレンタルロック	35
バンド	16、54、60
ファイナライズ	84
フェーダー/バランス	62
フォルダー	87
副音声	15
ブックマーク	29
フル	78
プレイリスト	41
プレイリスト詳細情報画面	47

ポジション	66
ポーズ/再生	28

ま行

マルチアングル	31
マルチ音声	33
マルチCD	57
マルチ字幕	30
マルチセッション	87
ミックスCD	24
ミュージックサーバー	37
メニュー言語	34
モニタースピーカーAV音声出力	73

や行

ユーザープリセット	16
ユニバーサルパッド	5

ら行

ラウドネス	62
ラジオ	5
ランダム再生	23、44、58
リアモニター	8
リージョン番号	85
リターン	31
リピート再生	22、43、58
リモコン操作	10
連続複製防止システム	38
録音	38
録音設定	70、73
録音モード	40

わ行

ワイド画面	77
ワイドモード	67、72

■アルファベット順**A**

AM	14
AV初期設定画面	72

B

BSM	16
BSSM	16

C

CCCD	84
CD	20、84
CD-DA	87
CHAPTER REPEAT	31
CINEMA	78

D

DDCD	84
DISC REPEAT	22、58
DSPユニット	68

E

EXT	76
-----	----

F

FM	14
FMトランスミッター	73
FOLDER REPEAT	22
FULL	78

G

Gracenote	89
GROUP REPEAT	43

I

ID3 Tag	88
ISO 9660	87

J

Joliet	87
JUST	78

M

m3u	87
MAGAZINE REPEAT	58
MD	21
MDLP	21
MP3	22、87
MY MIX	45

N

NORMAL	78
--------	----

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

オプション機器

AV初期設定 (AVCHD/HD20)

AV初期設定 (AVCHD/HD2)

その他の機能

付録

P	
PLAYLIST REPEAT	43
R	
Romeo	87
S	
SCMS	38
T	
TITLE REPEAT	31
TRACK REPEAT	22、43、58
V	
VTR	72、81
VSC	66
W	
WMA	22、88
Z	
ZOOM	78



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。
<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>
市外局番「0070」で始まる フリーフォン、および「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**
ファックス **03-3490-5718**
インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/index.html>
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 **0120-817-088**

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**
ファックス **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**
ファックス **0120-5-81029**
インターネットホームページ <http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html>
※修理受付および進捗状況確認など（インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります）

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 【一般電話】 **098-879-1910**
ファックス **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2005

< KAMFF > < 05J00000 > < CRA3797-A >